

2019  
講義要綱  
SYLLABUS

北翔大学大学院  
GRADUATE SCHOOL, HOKUSHO UNIVERSITY



## 2019年度 北翔大学大学院 学事日程

月	火	水	木	金	土	日	備考
4/1	4/2 在学オリエンテーション	4/3 入学式	4/4 オリエンテーション	4/5 オリエンテーション	4/6	4/7	
4/8 ①	4/9 ①	4/10 ①	4/11 ①	4/12 ①	4/13	4/14	
4/15 ②	4/16 ②	4/17 ②	4/18 ②	4/19 ②	4/20	4/21	
4/22 ③	4/23 ③	4/24 ③	4/25 ③	4/26 ③	4/27	4/28	
4/29 昭和の日	4/30 休日	5/1 祝日	5/2 休日	5/3 憲法記念日	5/4 みどりの日	5/5 こどもの日	教育学科看護教諭コース3年次 看護実習：4/8～4/26 こども学科2年次 教育実習：5/13～5/31
5/6 振替休日④	5/7 ④	5/8 ④	5/9 ④	5/10 ④	5/11	5/12	
5/13 ⑤	5/14 ⑤	5/15 ⑤	5/16 ⑤	5/17 ⑤	5/18	5/19	
5/20 ⑥	5/21 ⑥	5/22 ⑥	5/23 ⑥	5/24 ⑥	5/25	5/26	
5/27 ⑦	5/28 ⑦	5/29 ⑦	5/30 ⑦	5/31 ⑦	6/1	6/2	
6/3 ⑧	6/4 ⑧	6/5 ⑧	6/6 ⑧	6/7 ⑧	6/8	6/9	
6/10 ⑨	6/11 ⑨	6/12 ⑨	6/13 ⑨	6/14 ⑨	6/15	6/16	
6/17 ⑩	6/18 ⑩	6/19 ⑩	6/20 ⑩	6/21 ⑩	6/22	6/23	健康福祉学科(介護)4年次 訪問介護実習：6/18～6/28
6/24 ⑪	6/25 ⑪	6/26 ⑪	6/27 ⑪	6/28 ⑪	6/29	6/30	健康福祉学科(介護)2年次 介護基礎実習：6/26～28
7/1 ⑫	7/2 ⑫	7/3 ⑫	7/4 ⑫	7/5 ⑫	7/6	7/7	教育学科看護教諭コース2年次 看護学臨床実習：7月～9月
7/8 ⑬	7/9 ⑬	7/10 ⑬	7/11 ⑬	7/12 ⑬	7/13	7/14	
7/15 海の日⑭	7/16 ⑭	7/17 ⑭	7/18 ⑭	7/19 ⑭	7/20	7/21	
7/22 ⑮	7/23 ⑮	7/24 ⑮	7/25 ⑮	7/26 ⑮	7/27	7/28	
7/29 補講・試験日(月)	7/30 補講・試験日(火)	7/31 補講・試験日(水)	8/1 補講・試験日(木)	8/2 補講・試験日(金)	8/3	8/4	こども学科2年次 保育実習(保育所)：8月～9月 心理カウンセリング学科4年次 精神保健福祉援助実習：8月～9月
8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11 山の日	
8/12 振替休日	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	
8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	教育学科4年次 保育実習Ⅱ又は保育 実習Ⅲ：8/19～8/31
8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	教育学科3年次 教育実習Ⅰ(幼・小)： 幼稚園8/19～9/6 小学校8/19～9/13
9/2	9/3	9/4	9/5 創立記念日	9/6 5/6の振替休日	9/7	9/8	
9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	健康福祉学科(介護)3年次 介護実習Ⅱ：8/19～9/27
9/16 敬老の日	9/17 7/15の振替休日	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	健康福祉(他)3年次・ 健康福祉(介)4年次 相談援助実習：8月～9月
9/23 秋分の日	9/24	9/25	9/26 オリエンテーション	9/27 大学祭準備	9/28 大学祭	9/29	
9/30 ① 前学期学位記授与式	10/1 ①	10/2 ①	10/3 ①	10/4 ①	10/5	10/6	
10/7 ②	10/8 ②	10/9 ②	10/10 ②	10/11 ②	10/12	10/13	
10/14 体育の日	10/15 ③	10/16 ③	10/17 ③	10/18 ③	10/19	10/20	こども学科2年次 保育実習(施設)：10月～12月
10/21 ③	10/22 祝日	10/23 ④	10/24 ④	10/25 ④	10/26	10/27	
10/28 ④	10/29 ④	10/30 ⑤	10/31 ⑤	11/1 ⑤	11/2	11/3 文化の日	
11/4 振替休日⑤	11/5 ⑤	11/6 ⑥	11/7 ⑥	11/8 ⑥	11/9	11/10	
11/11 ⑥	11/12 ⑥	11/13 ⑦	11/14 ⑦	11/15 ⑦	11/16	11/17	
11/18 ⑦	11/19 ⑦	11/20 ⑧	11/21 ⑧	11/22 ⑧	11/23 勤労感謝の日	11/24	
11/25 ⑧	11/26 ⑧	11/27 ⑨	11/28 ⑨	11/29 ⑨	11/30	12/1	
12/2 ⑨	12/3 ⑨	12/4 ⑩	12/5 ⑩	12/6 ⑩	12/7	12/8	
12/9 ⑩	12/10 ⑩	12/11 ⑪	12/12 ⑪	12/13 ⑪	12/14	12/15	
12/16 ⑪	12/17 ⑪	12/18 ⑫	12/19 ⑫	12/20 ⑫	12/21	12/22	
12/23 ⑫	12/24 ⑫	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	
12/30	12/31	1/1 元旦	1/2	1/3	1/4	1/5	
1/6 ⑬	1/7 ⑬	1/8 ⑬	1/9 ⑬	1/10 ⑬	1/11	1/12	
1/13 成人の日	1/14 11/4の振替休日	1/15 ⑭	1/16 ⑭	1/17 ⑭	1/18	1/19	
1/20 ⑭	1/21 ⑭	1/22 ⑮	1/23 ⑮	1/24 ⑮	1/25	1/26	
1/27 ⑮	1/28 ⑮	1/29 補講・試験日(水)	1/30 補講・試験日(木)	1/31 補講・試験日(金)	2/1	2/2	心理カウンセリング学科3年次 精神保健福祉援助実習：2月～3月
2/3 補講・試験日(月)	2/4 補講・試験日(火)	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	
2/10	2/11 建国記念の日	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(保育所)：2/10～2/22
2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23 (天皇誕生日)	健康福祉学科(介護)2年次 介護実習Ⅰ：2/17～3/13
2/24 振替休日	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	3/1	
3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(施設)：3/2～3/14
3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	
3/16	3/17	3/18 学位記授与式	3/19	3/20 春分の日	3/21	3/22	
3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	
3/30	3/31						

# 講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2019年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

## 《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

### 学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。



# 教育課程表





## 生涯学習学専攻 専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
<b>生涯学習学理論領域</b>							
生涯学習学特論	講義	②		佐々木 邦子		[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_必修、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_必修	113
生涯学習環境特論	講義	2		千里 政文 小室 晴陽			114
生涯発達心理学特論	講義	2		藤井 壽夫	集中講義	[生]学校心理士_必修	115
生涯学習行政特論	講義	②		高田 茂		[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_必修、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_必修	116
生涯学習計画特論	講義		2	高田 茂	集中講義	[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必	117
生涯学習評価特論	講義		2	木村 純	集中講義	[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必	118
生涯学習メディア特論	講義	2		松澤 衛		[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必	119
教育学特論	講義	2		山谷 敬三郎		[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必	120
教育指導特論	講義	2		加藤 隆	集中講義	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、学校心理士_必修	121
道徳教育研究特論	講義		2	福田 信一		[生]小専_選必	122
教育心理学特論	講義	2		伊藤 崇	集中講義	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、学校心理士_必修	123
学校心理学特論	講義	2		三浦 公裕		[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、学校心理士_必修	124
臨床心理学特論	講義	2		塩見 邦雄	集中講義	[生]学校心理士_必修	125

生涯学習学専攻 専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
<b>生涯学習学理論領域</b>							
特別支援教育特論	講義	2		石川 大		[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、特支専_必修、学校心理士_必修	126
障害者心理学特論	講義		2	伊藤 政勝		[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、特支専_必修	127
障害者心理学特別演習	演習		2	磯貝 隆之			128
生涯学習支援システム論特別演習	演習		2	谷川 松芳	集中講義		129
生涯学習行政論特別演習	演習		2	高田 茂			130
心理検査特別演習Ⅰ	演習	1		石塚 誠之	集中講義	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、特支専_必修、学校心理士_必修	131
心理検査特別演習Ⅱ	演習		1	前田 整	集中講義	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、特支専_必修、学校心理士_必修	132
学校心理学特別演習	演習		2	山谷 敬三郎		[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、学校心理士_必修	133
<b>生涯学習活動論領域</b>							
生涯スポーツ特論	講義	2		浅尾 秀樹			134
生涯学習施設運営特論	講義		2	村松 幹男			135
生涯美術特論	講義	2		林 亨			136
生涯美術指導特論	講義	2		山崎 正明			137
美術鑑賞特論	講義		2	林 亨			138
高齢者学習特論	講義	2		木村 純	集中講義		139
生涯スポーツ特別演習(運動指導)	演習		2	浅尾 秀樹			140
生涯学習活動特別演習(絵画)	演習		2	林 亨			141
生涯学習活動特別演習(彫刻)	演習		2	永野 光一	隔年開講 集中講義		142
生涯学習活動特別演習(自然科学)	演習		2	横山 光	集中講義		143

生涯学習学専攻 専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
<b>生涯学習活動論領域</b>							
継続学習活動特別演習	演習		2	佐々木 邦子		[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必	144
<b>研究指導</b>							
生涯学習特別研究Ⅱ	演習	←④→		担当教員	集中講義		145

生涯学習学専攻 教職に関する科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
教育経営特論	講義		2	佐々木 邦子		[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必	146
教育方法特論	講義		2	浅尾 秀樹		[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必	147
教職研究特論	講義	2		諏江 康夫		[生]幼専・小専_選必	148
教育課程研究特論	講義	2		舟橋 安幸		[生]幼専・小専_選必	149
キャリアガイダンス特論	講義		2	佐々木 邦子		[生]小専_選必	150
保育原理特論	講義	2		伏見 千悦子		[生]幼専_選必	151
特別支援教育コーディネーター特論	講義	2		神田 英治		[生]特支専_必修	152
特別支援教育コーディネーター実践論	講義		2	神田 英治		[生]特支専_必修	153
知的障害者指導特論	講義	2		石塚 誠之		[生]特支専_必修	154
知的障害者指導特別演習	講義		2	石塚 誠之		[生]特支専_必修	155
肢体不自由者指導特論	講義	2		和 史朗	集中講義	[生]特支専_必修	156
肢体不自由者指導特別演習	講義		2	石川 大		[生]特支専_必修	157
病弱教育研究	講義	2		磯貝 隆之		[生]特支専_必修	158
重複障害者指導特論	講義		2	和 史朗	集中講義	[生]特支専_必修	159
発達障害者指導特論	講義		2	石塚 誠之		[生]特支専_必修	160



生涯学習学研究科  
生涯学習学専攻  
2年次



科目名	生涯学習学特論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木 邦子							
授業の目的	ねらい	生涯学習についての学習経験を確認し、さらに次の段階へ研究を進めるための糸口とする。生涯学習の中の様々な分野について研究を発展的に深めるための理解を促す。そのために講義のはじめの方では、生涯学習の基本的な理念、我が国への導入、我が国での教育政策としての展開、生涯学習に名称変化をした要因と背景などについて再確認をする。その次に、発展的な学習として文献を使用した発表による講義を展開する。						
	到達目標	(1)生涯学習の理念について基本を理解している。 (2)我が国で社会教育と生涯学習がどのように関わり合っているかを理解している。 (3)生涯学習の現代的な問題や課題を理解している。 (4)課題を克服するための方法を理解している。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義の進め方に関する説明をする。 【準備学習の内容】 シラバスを読み、概略を理解して臨むこと。					A	
	第2回	【テーマ】 生涯学習の理念が日本に導入された時期と経緯 【計画内容】 生涯学習の理念が日本に導入された時期と経緯について確認をする。 【準備学習の内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A	
	第3回	【テーマ】 生涯教育から生涯学習へと名称が変化した背景 【計画内容】 生涯教育から生涯学習へと名称が変化したことの社会的背景を理解する。 【準備学習の内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A	
	第4回	【テーマ】 アンドラゴジー論とベタゴジー論の違い/学生の発表 【計画内容】 生涯学習は子どもも大人も対象とするが、両者の学びには違いがあることをノールズの文献から確認をする。 【準備学習の内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第5回	【テーマ】 大人の学習者と生涯発達/学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、エリクソン、ハヴィガーストなど、学問的に著名な心理学者の理論を基に討議をする。 【準備学習の内容】 事前配付のプリントを必ず読んでくること。					B、F	
	第6回	【テーマ】 学び合うコミュニティを育てる実践の理論/学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、省察的実践論を中心に討議をする。 【準備学習の内容】 事前配付のプリントを必ず読んでくること。					B、F	
	第7回	【テーマ】 論点整理 【計画内容】 ここまでの学習内容を確認し、大学院生としての質を重視した論点を討議をする。 【準備学習の内容】 これまで使用したレジュメなどをよく読んで理解しておく。					B、I	
	第8回	【テーマ】 社会とつながる学び/学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、学習が個人的な領域を超え社会的にどのような関わりか学習をする。 【準備学習の内容】 事前配付のプリントを必ず読んでくること。					B	
	第9回	【テーマ】 ボランティア活動における生涯学習/学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、ボランティア活動が生涯学習として持つ意義を学習する。 【準備学習の内容】 事前配付のプリントを必ず読んでくること。					B	
	第10回	【テーマ】 論点整理 【計画内容】 ここまでの学習内容を確認し、大学院生としての質を重視した論点を討議をする。 【準備学習の内容】 事前配付のプリントを必ず読んでくること。					B、I	
	第11回	【テーマ】 ソーシャル・キャピタルについて/学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、ソーシャル・キャピタルについて学習をする。 【準備学習の内容】 事前配付のプリントを必ず読んでくること。					B	
	第12回	【テーマ】 生涯学習における評価と活用/学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、生涯学習における評価と活用について学習をする。 【準備学習の内容】 事前配付のプリントを必ず読んでくること。					B	
	第13回	【テーマ】 生涯学習における新しい公共の理念/学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、生涯学習における新しい公共の理念について学習をする。 【準備学習の内容】 事前配付のプリントを必ず読んでくること。					B	
	第14回	【テーマ】 論点整理 【計画内容】 ここまでの学習内容を確認し、大学院生としての質を重視した論点を討議をする。 【準備学習の内容】 事前配付のプリントを必ず読んでくること。					B、I	
	第15回	【テーマ】 生涯学習学としての総評 【計画内容】 生涯学習が今日の社会でどのような位置づけにあるのか、討議をする。 【準備学習の内容】 これまでのレジュメなどをよく読んでおくこと。					A、I	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	中村香・三輪建二、2012年、『生涯学習社会の展開』、玉川大学出版部 ユーリア・エンゲストローム、1999年、『拡張による学習』、新曜社 田中雅文、2016年、『生涯学習』、学文社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_必修、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_必修							
その他	これまでの学習内容に、さらに積み上げができるような学習の仕方をしていただきたい。							

科目名	生涯学習環境特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	千里 政文、小室 晴陽						
授業の目的	ねらい	今日の日本は世界に類を見ないスピードで高齢社会を迎え、主体性を持ちながらよりよく生きていくためにも、生涯を通して学習を継続できる環境づくりが求められている。本特論ではその現状と問題点を明らかにするとともに、望ましい方向性について豊富な事例を参照し、ハード・ソフト両面から探る。					
	到達目標	(1)高齢者、障害者、子ども、妊産婦等社会的弱者からの観点を加えた、多くの人々が生涯にわたり共に利用可能なユニバーサルデザインの視点で、北国における住まいづくり、ものづくり、まちづくりの事例を取り上げ、そのコンセプトについて考察する能力を身に付ける事を目標とする。 (2)今日の現状を認識するとともにさまざまな課題を明らかにし、事業展開上の可能性や学校・福祉施設を含む施設間相互の連携、融合など、特にソフト面における今後の方向性を考察する能力を身に付ける事を目標とする。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義内容を具体的に説明する。(千里政文・小室晴陽) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておく。	A				
	第2回	【テーマ】 生涯学習環境と関係についてのディスカッション 【計画内容】 生涯学習環境と各々の研究内容について論じる。(千里政文) 【準備学習の内容】 生涯学習環境と各々の研究内容を関連付け課題に取り組むこと。	J				
	第3回	【テーマ】 調査対処と研究分析方法について 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(千里政文) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第4回	【テーマ】 フィールドワーク(1) 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(千里政文) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第5回	【テーマ】 フィールドワーク(2) 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(千里政文) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第6回	【テーマ】 経過報告とディスカッション 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(千里政文) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第7回	【テーマ】 フィールドワーク(3) 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(千里政文) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第8回	【テーマ】 フィールドワーク(4) 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(小室晴陽) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第9回	【テーマ】 フィールドワーク(5) 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(小室晴陽) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第10回	【テーマ】 初回公表会 【計画内容】 プレゼンテーション等を行う。(千里政文・小室晴陽) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	F				
	第11回	【テーマ】 フィールドワーク(6) 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(小室晴陽) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第12回	【テーマ】 最終公表会 【計画内容】 プレゼンテーション等を行う。(小室晴陽) 【準備学習の内容】 プレゼンテーションを事前に練習し課題に取り組むこと。	F				
	第13回	【テーマ】 生涯学習関連施設の現状認識(1) 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(小室晴陽) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第14回	【テーマ】 生涯学習関連施設の現状認識(2) 【計画内容】 研究調査、分析、考察について行う。(小室晴陽) 【準備学習の内容】 研究調査、分析、考察について予習復習し課題に取り組むこと。	G				
	第15回	【テーマ】 生涯学習関連施設の現状認識とグループディスカッション 【計画内容】 プレゼンテーション等を行う。(千里政文・小室晴陽) 【準備学習の内容】 プレゼンテーションを事前に練習し課題に取り組むこと。	F				
テキスト	『人にやさしい北国のユニバーサルデザイン』 各種論文等						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補足	分						
質問への対応	各担当教員から説明します。						
資格							
その他	生涯学習関連施設の調査研究を行うため一部集中して講義を行うが、日時に関しては履修学生と調整をします。						



科目名	生涯発達心理学特論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	藤井 壽夫						
授業の目的	ねらい	高齢化社会到来と発達心理学研究の成果により、人間の生涯にわたっての心理的発達について、現在多くの研究成果が報告されている。そこで、乳幼児期から、児童期、青年期、成人期、高齢期における研究成果を主として演習を通して概観するとともに、生涯発達心理学の意義、研究方法について深める。					
	到達目標	(1)生涯発達心理学の意義を理解し、例を挙げて説明できる。 (2)生涯発達心理学の各ステージごとの研究成果について説明できる。 (3)生涯発達心理学に関する研究方法を理解し、他の分野との比較検討ができる。 (4)生涯発達における、各ステージごとの課題と可能性、人間の可逆性について説明できる。 (5)生涯発達心理学の課題と今後の方向性を具体的に説明できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業ガイダンス(生涯発達心理学とは何か) 【計画内容】 15回の授業の説明、準備等についてオリエンテーションする。生涯学習心理学の概要/生涯発達心理学の歴史 【準備学習の内容】 配付された資料を熟読してくる				A	
	第2回	【テーマ】 乳幼児期の発達と課題(1) 【計画内容】 乳幼児の知能の発達/愛着と愛着障害 【準備学習の内容】 配付された論文を読んで課題に対するレポートを作成してくる。				A、B、H、J	
	第3回	【テーマ】 乳幼児期の発達と課題(2) 【計画内容】 コミュニケーション能力の発達/幼児の他者理解 【準備学習の内容】 事前に配付された論文を読んでくる。				A、B、F、H、J	
	第4回	【テーマ】 児童期の発達と課題(1) 【計画内容】 児童期の特徴/児童の思考 【準備学習の内容】 事前に配付する論文、資料を読んでおく。				A、B、F、H、J	
	第5回	【テーマ】 児童期の発達と課題(2) 【計画内容】 社会性の発達/児童期と発達障害 【準備学習の内容】 発達障害に関する配付資料を熟読し、課題をレポートにしておく。				A、B、I、J	
	第6回	【テーマ】 青年期の発達と課題(1) 【計画内容】 青年期の特徴/自己意識の発達/アイデンティティ 【準備学習の内容】 前時に課した論文と資料を読んで、疑問点を整理しておく。				A、B、F、H	
	第7回	【テーマ】 青年期の発達と課題(2) 【計画内容】 青年期の発達課題/自己中心性/重要な他者と発達 【準備学習の内容】 前時に課した論文と資料を読んで、疑問点を整理しておく。				A、B、H、N	
	第8回	【テーマ】 成人期の発達と課題 【計画内容】 成人期の特徴/成人期とストレス 【準備学習の内容】 前時に課した論文と資料を読んで、疑問点を整理しておく。				A、B、J	
	第9回	【テーマ】 高齢期の発達と課題(1) 【計画内容】 高齢期について/高齢期の研究成果 【準備学習の内容】 前時に課した論文と資料を読んで、疑問点を整理しておく。				A、B、H	
	第10回	【テーマ】 高齢期の発達と課題(2) 【計画内容】 老化と死/高齢期と人格の発達 【準備学習の内容】 前時に課した論文と資料を読んで、疑問点を整理しておく。				A、B、H、J	
	第11回	【テーマ】 高齢期の発達と課題(3) 【計画内容】 高齢化社会/エキスパート研究 【準備学習の内容】 課題の発表ができるように準備しておく。				A、B、H	
	第12回	【テーマ】 出生前心理学の可能性 【計画内容】 胎児への関心と研究領域の拡大/出生前心理学の可能性 【準備学習の内容】 『生涯発達の心理学』(岩波新書)、課された課題の発表ができるように準備しておく。				A、B、J	
	第13回	【テーマ】 最新の生涯発達心理学研究概観(1) 【計画内容】 最新研究論文概観(1)(高齢期) 【準備学習の内容】 課された論文の発表ができるように準備しておく。				A、B、F	
	第14回	【テーマ】 最新の生涯発達心理学研究概観(2) 【計画内容】 最新研究論文概観(2)(児童期・青年期) 【準備学習の内容】 課された論文の発表ができるように準備しておく。				A、B、F、H	
	第15回	【テーマ】 生涯発達心理学の新たな流れ、これまでの学修のまとめと振り返り 【計画内容】 生涯発達心理学の新たな流れを、論文紹介を通して考える。講義を振り返っての自己評価と指導者への評価。 【準備学習の内容】 前回までの講義の内容を復習しておく。				A、B、G、H、K、L	
テキスト	プリントを使用する、講義前に多くの資料を配付する						
参考書	藤永保ほか、1987年、『人間発達と初期環境』、有斐閣アルマ、4641075050 堀川恵子、2013年、『永山則夫-封印された鑑定記録』、岩波書店、9784000241694						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
補足							
質問への対応	E-Mail: fujii@hakodate-jc.ac.jp						
資格	[生]学校心理士_必修						
その他	・授業において、レポート課題を課します。提出後添削し、次回、個別指導を行った上で返却します。 ・授業において、多くの資料をディスカッションを加えながら、学修していきますから、授業開始前に必ず予習をしておいてください。						

科目名	生涯学習行政特論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	高田 茂							
授業の目的	ねらい	生涯学習振興施策など生涯学習とその行政に関する法令や地方自治体行財政・施策について、資料プリントをもとに学習を深めるとともに、日本国民として毎年定期的に迎える「国民の祝日」の事例を参考に、地域社会の人々の生涯学習を支援する行政の在り方を探る。						
	到達目標	(1)生涯学習と生涯学習行政に関する法令の理解ができる。 (2)日本政府及び地方自治体の行財政組織の在り方や政策作成・実施過程を理解できる。 (3)市町村(都道府県)が主催する地域生涯学習の行事内容がわかる。 (4)課題発表力や集団討議力の向上を目指す。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義ガイダンス 【計画内容】 授業を紹介し、毎回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 生涯学習に関連する法令の概観 その1 【計画内容】 憲法、教育基本法、社会教育法、生涯学習施設などに関する法令より学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、B	
	第3回	【テーマ】 生涯学習に関連する法令の概観 その2 【計画内容】 生涯学習振興法、地方教育行政の組織及び運営に関する法令より学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、B	
	第4回	【テーマ】 生涯学習に関連する法令の概観 その3 【計画内容】 子ども若者育成支援推進法、子ども読書活動の推進に関する法令より学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、B	
	第5回	【テーマ】 生涯学習と行政の役割 その1 【計画内容】 生涯学習の振興を目指した具体的方策について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。					A、M	
	第6回	【テーマ】 生涯学習と行政の役割 その2 【計画内容】 行政は何を推進するのか、振興すべき学習活動の具体的な範囲・内容を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、M	
	第7回	【テーマ】 生涯学習と行政の役割 その3 【計画内容】 学習権と行政の役割について学びます。 【準備学習の内容】 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、B	
	第8回	【テーマ】 生涯学習と学校の役割 【計画内容】 学校の三つの役割(学習需要の喚起、学習機会の提供、学習成果の評価)について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。					A、B	
	第9回	【テーマ】 大型連休と生涯学習行事 【計画内容】 昭和の日、憲法記念日、みどりの日、こどもの日に関する学習行事について学びます。 【準備学習の内容】 大型連休祝日などからこれまでの各自の体験を振り返ります。					A、G	
	第10回	【テーマ】 「成人の日」各紙報道から見た青少年教育行政 【計画内容】 各新聞社報道より「成人の日」について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す復習課題に取り組むこと。					A、B	
	第11回	【テーマ】 「敬老の日」各紙報道から見た成人教育行政 【計画内容】 各新聞社報道より「敬老の日」について学びます。 【準備学習の内容】 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、B	
	第12回	【テーマ】 市町村が主催する高齢者の各種行事 【計画内容】 高齢化社会における各市町村が主催する行事について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す復習課題に取り組むこと。					A、B	
	第13回	【テーマ】 「体育の日」各紙報道から見た生涯スポーツ行政 【計画内容】 スポーツ振興法、健康増進法等より「体育の日」について学びます。 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。					A、B	
	第14回	【テーマ】 「文化の日」各紙報道から見た文化・芸術行政 【計画内容】 各紙「文化の日」報道から文化・芸術、地域文化振興について学びます。 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。					A、B	
	第15回	【テーマ】 生涯学習行政の課題/まとめ 【計画内容】 どんな生涯学習社会を目指すのか、三つの課題からまとめ、学びます。 【準備学習の内容】 まとめプリントについて理解を深めておくこと。					B	
テキスト	プリントを配付します							
参考書	岡本薫、2012年、『新訂入門生涯学習政策』、全日本社会教育連合会 関口礼子他、2018年、『新しい時代の生涯学習』、有斐閣アルマ							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
	補足			レポート		発表・意欲		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_必修、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_必修							
その他								

科目名	生涯学習計画特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	高田 茂						
授業の目的	ねらい	生涯学習の意義、生涯学習と家庭・学校・社会教育との関係、生涯学習振興行政、社会教育の意義や内容・方法・形態・指導者などを踏まえ、先進地の生涯学習推進計画を研究・検討しながら生涯学習計画の在り方を学び、市町村(都道府県)レベルでの生涯学習事業計画案の作成を試みる。					
	到達目標	(1)生涯学習と社会教育の意義と目的を理解する。 (2)生涯学習振興行政を概観し生涯学習計画の必要性を理解する。 (3)市町村(都道府県)における生涯学習事業計画案の作成を試みる。 (4)今日の社会的背景を踏まえ女性・高齢者の生涯学習の在り方を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】生涯学習と社会教育 【計画内容】生涯学習と社会教育の違いについて学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A				
	第2回	【テーマ】生涯学習と生涯教育 【計画内容】生涯学習と生涯教育の意義や相違点と共通点を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、B				
	第3回	【テーマ】生涯学習社会の実現に向けて 【計画内容】学習成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現を目指しその意義について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、B				
	第4回	【テーマ】学歴社会とは 【計画内容】学歴社会から生涯学習社会の実現に向けて学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、B				
	第5回	【テーマ】生涯学習計画とは 【計画内容】先進地の生涯学習推進計画を研究しながら生涯学習計画の在り方を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、B				
	第6回	【テーマ】生涯学習と家庭教育 【計画内容】生涯学習社会における社会教育と家庭教育及び青少年教育との関係について学びます。 【準備学習の内容】授業終了後に示す課題について、レポートを作成すること。	A、B				
	第7回	【テーマ】生涯学習と学校教育 【計画内容】生涯学習の振興における学校の役割について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、B				
	第8回	【テーマ】ボランティア活動と生涯学習 【計画内容】ボランティア活動と生涯学習振興について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、B				
	第9回	【テーマ】健康づくりと生涯学習 【計画内容】健康づくりのため余暇活動と生涯スポーツの位置づけを学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A、B				
	第10回	【テーマ】地域社会における生涯学習活動 【計画内容】地域における学習の場について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、B				
	第11回	【テーマ】女性と高齢者の生涯学習 【計画内容】女性のライフサイクルの変化と高齢者の生涯学習について学びます。 【準備学習の内容】生涯学習審議会「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策」(平成4年～)を熟読しておくこと。	A、B				
	第12回	【テーマ】生涯学習計画の実例 その1 【計画内容】実践的な生涯学習計画における学習目標の設定について学びます。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A、B				
	第13回	【テーマ】生涯学習計画の実例 その2 【計画内容】実践的な生涯学習計画における学習計画のデザインについて学びます。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A、B				
	第14回	【テーマ】生涯学習計画の実例 その3 【計画内容】生涯学習計画におけるプレゼンテーションと相互批評について学びます。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A、B				
	第15回	【テーマ】生涯学習計画の在り方について 【計画内容】作成した市町村(都道府県)生涯学習計画案をもとに事業計画を振り返ります。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントについて、理解を深めておくこと。	B				
テキスト	プリントを配付します						
参考書	岡本薫、2012年、『新訂入門生涯学習政策』、全日本社会教育連合会 関口礼子他、2018年、『新しい時代の生涯学習』、有斐閣アルマ						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			作品・レポート		発表・意欲	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必						
その他							



科目名	生涯学習評価特論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	木村 純							
授業の目的	ねらい	生涯学習の実践について、その意義、方法について述べ、実践事例を検討して、生涯学習および社会教育をすすめる際の評価を学習者とともに取り組むことができる力を習得する。						
	到達目標	(1)生涯学習の評価の意義と重視されるようになった背景を知る。 (2)生涯学習の評価の方法について知り、その意義や限界を知る。 (3)生涯学習の評価の先駆的事例を知る。 (4)上記の知識を踏まえて、生涯学習の評価を実践する力を身に付ける。						
授業の計画	第1回	【テーマ】生涯学習評価の意義 【計画内容】生涯学習の評価がなぜ重要か。近年なぜ重視されるようになったかについて学ぶ。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A、H	
	第2回	【テーマ】生涯学習評価の背景 【計画内容】生涯学習の評価がなぜ重視されるようになったかについて、その政策的な動向や実践上の課題との関わりについて学ぶ。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A	
	第3回	【テーマ】生涯学習の評価の種類と方法(1) 【計画内容】生涯学習の評価にはどのようなものがあるか。学習評価、事業評価、政策評価について、その意義と方法について学ぶ。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A	
	第4回	【テーマ】生涯学習の評価の種類と方法(2) 【計画内容】生涯学習の評価の種類・方法について、その意義と限界について学ぶ。 ・教育評価論の成果 ・プログラム評価 ・参加型評価 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A、H	
	第5回	【テーマ】生涯学習の成果と活用 【計画内容】生涯学習の成果がどのように活用されているか、その現状と課題について学ぶ。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A	
	第6回	【テーマ】生涯学習の評価における専門職員の役割 【計画内容】生涯学習の評価に際して、社会教育主事や公民館職員、図書館司書、博物館学芸員の役割について学ぶ。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A	
	第7回	【テーマ】生涯学習の評価と住民参加(1) 【計画内容】生涯学習の評価における社会教育委員、公民館運営審議会委員をはじめとする住民参加の現状について知り、その現状と課題について学ぶ。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A	
	第8回	【テーマ】生涯学習の評価と住民参加(2) 【計画内容】生涯学習ボランティアが生涯学習の評価にどのように関わっているか、その現状と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A	
	第9回	【テーマ】生涯学習計画・社会教育計画づくりと評価 【計画内容】とくに市町村における生涯学習計画・社会教育策定の現状と課題について知り、そこで評価がどのように位置付けられ、行われているかを学ぶ。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A、H	
	第10回	【テーマ】生涯学習評価の事例(1)公民館の事業評価 【計画内容】公民館の事業の評価の現状と課題について学ぶ。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでくること。					A	
	第11回	【テーマ】生涯学習評価の事例(2)図書館・博物館の事業評価 【計画内容】図書館・博物館の事業の評価の現状と課題について学ぶ。 【準備学習の内容】猪谷千香『つながる図書館』(ちくま新書)を読んでくること。					A	
	第12回	【テーマ】生涯学習評価の事例(3)さっぽろ市民カレッジ 【計画内容】さっぽろ市民カレッジでは評価がどのように行われているかを学ぶ。 【準備学習の内容】さっぽろ市民カレッジについての資料を調べてくること。					A	
	第13回	【テーマ】生涯学習評価の事例(4)恵庭市・網走市の生涯学習計画づくり 【計画内容】恵庭市や網走市の生涯学習計画・社会教育計画づくりについて学ぶ。 【準備学習の内容】恵庭市や網走市の地域の現状について調べておくこと。					A	
	第14回	【テーマ】生涯学習評価の事例(5)北海道開拓の村の評価実践 【計画内容】博物館ボランティアの役割と博物館の利用者参加による評価について学ぶ。 【準備学習の内容】北海道開拓の村について調べてくること。					A	
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】これまでの講義のまとめを話し、最終レポートの書き方について説明を行う。 【準備学習の内容】講義の感想についてまとめておくこと。					A、L	
テキスト	プリントを配付するとともに講義時に説明します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法	配分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	補足			60%		30%	10%	
質問への対応	講義の際に適宜答えます。メールアドレスを講義中に知らせ、メールで質疑応答します。							
資格	[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必							
その他								

科目名	生涯学習メディア特論				授業形態	講義	単位数	2	
教員名	松澤 衛								
授業の目的	ねらい	今日、通信機器やコンピュータシステム等の情報処理技術の急激な進歩により、社会における情報等を発信するメディアの在り方も変化している。このことは学校を始め美術館、博物館、図書館等の生涯学習施設においても例外ではない。デジタル放送、携帯端末の普及が進むにつれ、情報の伝達方法は従来の施設に固定されたメディアからの一方的な発信だけではなく、場所や時間に縛られることなく、双方においてのコミュニケーションが可能な環境へと変化して来ているのが現状である。そこで情報メディアに視点を置きながら、情報発信における現状とその情報を受信する側のこれからのニーズへの対応を学び、生涯学習施設におけるメディアの活用法について考察する。							
	到達目標	(1)情報発信の現状を理解できる。 (2)情報を受信する側の対応を理解できる。 (3)生涯学習施設におけるメディアの活用法について理解できる。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義を紹介し、15回の講義展開を説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。							A、L
	第2回	【テーマ】 メディアとは何か 【計画内容】 方法論としてのメディアについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第3回	【テーマ】 メディアの知1 【計画内容】 新文学というメディアについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第4回	【テーマ】 メディアの知2 【計画内容】 マス・コミュニケーション理論の展開とその限界について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第5回	【テーマ】 メディア革命 【計画内容】 メディア革命と知覚の近代について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第6回	【テーマ】 メディアの歴史的背景 【計画内容】 歴史としてのメディアについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第7回	【テーマ】 メディアの活用 【計画内容】 実践としてのメディアについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第8回	【テーマ】 グローバルメディア 【計画内容】 グローバルメディアとは何かについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第9回	【テーマ】 変革の知 【計画内容】 メディアを変革するための知について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第10回	【テーマ】 市民社会 【計画内容】 パソコンとネットワーク化する市民社会について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第11回	【テーマ】 メディアリテラシー 【計画内容】 メディアリテラシーという回路について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第12回	【テーマ】 メディア研究 【計画内容】 連動するメディア研究とメディアリテラシーについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第13回	【テーマ】 メディア実践1 【計画内容】 メディアリテラシーからメディア実践について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第14回	【テーマ】 メディア実践2 【計画内容】 メディアを変革するための実践的な基盤について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
	第15回	【テーマ】 まとめ 【計画内容】 さまざまなメディアにおける情報の発信・受信について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。							A、L
テキスト	プリントを使用します								
参考書	講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			40%		30%	30%		
補足									
質問への対応	E-Mail: mmamoru@hokusho-u.ac.jp マイクロソフト チームを使用します。								
資格	[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必								
その他	第15回でレポート等を返却し学んだ内容を振り返りながら講評します。								

科目名	教育学特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	山谷 敬三郎						
授業の目的	ねらい	教育は、個人が人類の社会的意識に参加することによって始まる。本特論では、「教育とは何か」「学校とは何か」「教育の内容」「教育方法の特質」「学校と社会の進歩の関係」についてデューイやボルノーの原典にふれ、考察する。また、教育作用の学としての教育学の成立の根拠、教育愛の諸相をコメニウス、ルソー、ペスタロッチ等の著作を通して考察する。					
	到達目標	(1)デューイやボルノーの教育に関する基本的考えを原書講読を通して理解する。 (2)教育学の基本的機能について、深く考察し、説明することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 資料配付 【計画内容】 講義のすすめ方の確認。参考資料の説明。 【準備学習の内容】 デューイという人物、その指導について事前に調べておく。	F				
	第2回	【テーマ】 『My Pedagogic Creed』を通して「教育とは何か」について考察する 【計画内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を考察する。 【準備学習の内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を事前に邦訳してくる。	F				
	第3回	【テーマ】 『My Pedagogic Creed』を通して「学校の役割」について考察する 【計画内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を考察する。 【準備学習の内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を事前に邦訳してくる。	F				
	第4回	【テーマ】 『My Pedagogic Creed』を通して「教育の内容」について考察する 【計画内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を考察する。 【準備学習の内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を事前に邦訳してくる。	F				
	第5回	【テーマ】 『My Pedagogic Creed』を通して「教育方法の本質」について考察する 【計画内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を考察する。 【準備学習の内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を事前に邦訳してくる。	F				
	第6回	【テーマ】 『My Pedagogic Creed』を通して「学校と社会の進歩との関係」について考察する 【計画内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を考察する。 【準備学習の内容】 『My Pedagogic Creed』の該当部分を事前に邦訳してくる。	F				
	第7回	【テーマ】 『Erziehung zur Frage』を通して「問うことと人間の成長との関係」について考察する 【計画内容】 『Erziehung zur Frage』の該当部分を考察する。 【準備学習の内容】 『Erziehung zur Frage』の該当部分を邦訳してくる。あわせて、ボルノーの人物、思想について調べる。	F				
	第8回	【テーマ】 『Erziehung zur Frage』を通して「対話と問うこととの関係」について考察する 【計画内容】 『Erziehung zur Frage』の該当部分について考察する。 【準備学習の内容】 『Erziehung zur Frage』の該当部分を事前に邦訳してくる。	F				
	第9回	【テーマ】 『Erziehung zur Frage』を通して「問うことと教育との関係」について考察する 【計画内容】 『Erziehung zur Frage』の該当部分について考察する。 【準備学習の内容】 『Erziehung zur Frage』の該当部分を邦訳してくる。	F				
	第10回	【テーマ】 コメニウスの感覚教育について考察する 【計画内容】 コメニウスの『大教授学』の該当部分について考察する。 【準備学習の内容】 コメニウスの『大教授学』の教育方法の該当部分を事前に読む。あわせてコメニウスの人物と思想について調べる。	F				
	第11回	【テーマ】 コメニウスの感覚教育と自然主義について考察する 【計画内容】 コメニウスの『大教授学』の該当部分について考察する。 【準備学習の内容】 コメニウスの『大教授学』の教育方法の該当部分を事前に読む。	F				
	第12回	【テーマ】 ペスタロッチの教育愛について考察する 【計画内容】 ペスタロッチの『隠者の夕暮れ』の該当部分について考察する。 【準備学習の内容】 ペスタロッチの『隠者の夕暮れ』の該当部分を事前に読む。	F				
	第13回	【テーマ】 ペスタロッチの教育愛と居間の教育について考察する 【計画内容】 ペスタロッチの『隠者の夕暮れ』の該当部分について考察する。 【準備学習の内容】 ペスタロッチの『隠者の夕暮れ』の該当部分を事前に読む。	F				
	第14回	【テーマ】 ヘルバルトの教授段階説について考察する 【計画内容】 ヘルバルトの系統的学習について現代の授業展開と関連させて考察する。 【準備学習の内容】 ヘルバルトの教授段階説、人物について事前に調べる。	F				
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 デューイ、ボルノー、コメニウス、ペスタロッチ、ヘルバルトの思想の関係を把握する。 【準備学習の内容】 取り上げてきた人物の思想と具体的提案についてまとめる。	F				
テキスト	J.Dewey, 2009年、『My Pedagogic Creed』、BiblioBazaar、1113329971 O.F.Bollnow、『Erziehung Zur Frage』						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%			30%
補足				レポート			レポート毎回
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[生] 幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必						
その他	毎時間、発表し、その内容をもとに協議する。また、質問等は次回講義の冒頭にフィードバックする。						



科目名	教育指導特論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	加藤 隆							
授業の目的	ねらい	この講義では、環境教育、国際教育、いのちの教育、食育、道徳教育など、教科指導の範疇には入りきらない現代のさまざまな教育課題をとりあげ、そのことを教育指導の観点から考えます。その際に大事なことは、教育ジャーナリズム、教育行政・研究機関、そして学校現場自身などから発せられる諸言説(実践報告を含む)を批判的に吟味し、受講生自身が教育指導を行う立場にたったアプローチの大切さです。したがって、この講義の内容は授業づくりなどの実務に必ずしも直結するとは限りませんが、大学院ならではの斬新な視点から時にはあえてタブーに挑戦したいと思います。						
	到達目標	(1)環境教育、国際教育、いのちの教育について、その課題と対応が理解できる。 (2)食育、道徳教育について、その課題と対応が理解できる。 (3)取り上げた教育課題について教育指導の理論と実践力を高めることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 本講義の目的や進め方について説明する。また、受講生各自の関心課題について交流する。 【準備学習の内容】 本講義の趣旨を読み取り、受講生各自の関心課題についてまとめておく。					A	
	第2回	【テーマ】 環境教育、国際教育と教育指導① 【計画内容】 教育ジャーナリズムや学校現場自身などから発せられる言説について講義し、それに基づきグループワークを行う。 【準備学習の内容】 環境教育、国際教育についての考えをまとめておくこと。					A、H	
	第3回	【テーマ】 環境教育、国際教育と教育指導② 【計画内容】 前回のグループワークを応用発展させたグループ発表を行い、それに基づいた批判検討を演習として行う。 【準備学習の内容】 グループワークを応用発展させたグループ発表を準備する。					B、F	
	第4回	【テーマ】 環境教育、国際教育と教育指導③ 【計画内容】 前回の応用発展したグループ発表、及び批判検討に基づき、受講生各自が教育指導の観点からそのテーマに関するレポート作成を行う。 【準備学習の内容】 環境教育、国際教育の文献を読み、レポート作成の準備を行う。					G	
	第5回	【テーマ】 いのちの教育、食育と教育指導① 【計画内容】 教育ジャーナリズムや学校現場自身などから発せられる言説について講義し、それに基づきグループワークを行う。 【準備学習の内容】 いのちの教育、食育についての考えをまとめておくこと。					A、H	
	第6回	【テーマ】 いのちの教育、食育と教育指導② 【計画内容】 前回のグループワークを応用発展させたグループ発表を行い、それに基づいた批判検討を演習として行う。 【準備学習の内容】 グループワークを応用発展させたグループ発表を準備する。					B、F	
	第7回	【テーマ】 いのちの教育、食育と教育指導③ 【計画内容】 前回の応用発展したグループ発表、及び批判検討に基づき、受講生各自が教育指導の観点からそのテーマに関するレポート作成を行う。 【準備学習の内容】 いのちの教育、食育の文献を読み、レポート作成の準備を行う。					G	
	第8回	【テーマ】 道徳教育と教育指導① 【計画内容】 教育ジャーナリズムや学校現場自身などから発せられる言説について講義し、それに基づきグループワークを行う。 【準備学習の内容】 道徳教育についての考えをまとめておくこと。					A、H	
	第9回	【テーマ】 道徳教育と教育指導② 【計画内容】 道徳の教科化に関する学習指導要領でのねらいや目的、或いは、社会に流布するさまざまな言説について講義し、それに基づきグループワークを行う。 【準備学習の内容】 道徳の教科化に関する文献や資料などを読んでおくこと。					A、H	
	第10回	【テーマ】 道徳教育と教育指導③ 【計画内容】 前回までの2回のグループ発表、及び批判検討に基づき、受講生各自が教育指導の観点からそのテーマに関するレポート作成を行う。 【準備学習の内容】 道徳教育に関する文献を読み、レポート作成の準備をしていく。					G	
	第11回	【テーマ】 学校現場と教育指導① 【計画内容】 幼稚園の教員をゲストとして招き、教育指導の課題と可能性について講じてもらう。その後、そのテーマに基づいた意見交流を行う。 【準備学習の内容】 幼稚園教育について調べておくこと。					A、H	
	第12回	【テーマ】 学校現場と教育指導② 【計画内容】 小中学校の教員をゲストとして招き、教育指導の課題と可能性について講じてもらう。その後、そのテーマに基づいた意見交流を行う。 【準備学習の内容】 小中学校教育について調べておくこと。					A、H	
	第13回	【テーマ】 教育指導に関するプレゼン① 【計画内容】 取り上げた環境教育、国際教育、いのちの教育、食育、道徳教育、学校現場からひとつをテーマとして取り上げ、教育指導の観点から各自がプレゼンテーションを行う。その後に、全体による検討批判を行う。 【準備学習の内容】 取り上げたテーマのプレゼンを準備する。					F	
	第14回	【テーマ】 教育指導に関するプレゼン② 【計画内容】 取り上げた環境教育、国際教育、いのちの教育、食育、道徳教育、学校現場からひとつをテーマとして取り上げ、教育指導の観点から各自がプレゼンテーションを行う。その後に、全体による検討批判を行う。 【準備学習の内容】 取り上げたテーマのプレゼンを準備する。					F	
	第15回	【テーマ】 まとめ:これからの教育指導とは 【計画内容】 これまでの講義を振り返り、教育指導の課題や望ましい在り方を考える。 【準備学習の内容】 各自がテーマとして取り上げたことを整理する。					A	
テキスト	講義時に説明する							
参考書	講義時に説明する							
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	30%	30%		40%			
補足		プレゼンテーション	レポート		意欲・発表			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、学校心理士_必修							
その他								

科目名	道徳教育研究特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	福田 信一						
授業の目的	ねらい	本特論では三つの視点から道徳教育について学びます。第一の視点は、道徳教育の理論とその歴史的な背景です。第二は、道徳の教科化及び学習指導要領の変遷、道徳教育と他教科・領域との関わり、公民教育や宗教教育との関連等についてです。第三は、実際の指導場面を想定しての学習指導案の作成・検討・分析です。これらを通して、道徳教育の特性に迫ると共に、道徳の授業を展開していく上での知識や技能を習得します。					
	到達目標	(1)道徳教育の典型的な理論とその歴史的な背景を理解することができる。 (2)学習指導要領の変遷をもとに、道徳性の発達という観点から道徳教育の意義や目標を理解できる。 (3)学習指導案の作成を通して、道徳授業の在り方を理解することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義の展開や到達目標、評価方法について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 道徳の起源と系譜 【計画内容】 ラテン語に由来する「道徳」と訳される英語の語義をもとに、道徳の起源や道徳の系譜について学びます。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第3回	【テーマ】 道徳教育の歴史 【計画内容】 道徳を教育すべきものとしてとらえるようになった時代性や宗教(キリスト教)との関わり、「西洋的個人」と「社会」の中での道徳教育の意味などを学びます。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第4回	【テーマ】 道徳教育の方法(1) 【計画内容】 テュルケムの道徳教育論を学びます。子どもの主体性が強調される一方で、社会的ルールの存立も重要な要素であることを読み取ることにより、教育の機能について考えます。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第5回	【テーマ】 道徳教育の方法(2) 【計画内容】 発達論的な道徳教育として、ピアジェを取り上げます。その特質と日本の道徳教育に与えた影響を考えます。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第6回	【テーマ】 道徳教育の方法(3) 【計画内容】 コールバーグの道徳性発達段階理論について学びます。道徳的ジレンマ論を検討するとともに、実際の授業(ビデオ)を通して有効性と課題を考えます。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第7回	【テーマ】 道徳教育の方法(4) 【計画内容】 アメリカにおけるインカルケーション(品格教育)と認知発達論的アプローチという二つの道徳教育の潮流について学びます。トマス・コリナーの『人格教育のすべて』を中心にその特質と社会的背景を考えます。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第8回	【テーマ】 学習指導要領と道徳性(1) 【計画内容】 道徳教育は学校教育全体の中で行うべきものとされています。教育課程、学校経営、学級経営がどのように位置づけられ、関連づけられるのかについて学びます。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第9回	【テーマ】 学習指導要領と道徳性(2) 【計画内容】 道徳教育と他教科との関連づけについての形態や内容を考えます。また、その際の課題についても検討します。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第10回	【テーマ】 学習指導要領と道徳性(3) 【計画内容】 「道徳の時間」が導入された背景と、学習指導要領の変遷について学びます。また、道徳の時間の現状と課題についても検討します。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第11回	【テーマ】 学習指導案作成(1) 【計画内容】 道徳の時間の指導の基本方針と学習指導案の内容とその作成について学びます。 【準備学習の内容】 課題をやっておくこと。	B				
	第12回	【テーマ】 学習指導案作成(2) 【計画内容】 学習指導の多様な展開と指導における配慮事項を学びます。 【準備学習の内容】 課題をやっておくこと。	B				
	第13回	【テーマ】 学習指導案作成(3) 【計画内容】 学習指導案の考察と検討を深めます。 【準備学習の内容】 相互の学習指導案の検討と分析をしておくこと。	B				
	第14回	【テーマ】 変容する現代社会と道徳 【計画内容】 近代の社会変容とともに道徳も変化にさらされています。事例研究をもとに、グローバル化、リスク社会、変化する伝統、変容する家族について考察します。 【準備学習の内容】 資料を読んでまとめておくこと。	A、F				
	第15回	【テーマ】 まとめとレポート作成 【計画内容】 これまでの内容を振り返り、道徳教育の課題性と可能性について考察します。また、関心のある道徳教育のテーマを取り上げ、レポートにまとめ後日提出します。 【準備学習の内容】 これまでの資料やテキストに目を通して、理解を深めておくこと。	G				
テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義の中で説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			レポート		発表	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[生]小専_選必						
その他							



科目名	教育心理学特論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	伊藤 崇						
授業の目的	ねらい	本科目では、いわゆる社会構成主義的教育の心理学における源流であるレフ・ヴィゴツキーの著作を読む。100年ほど前に書かれた著作を読むという作業を通して、現代の私たちにとって「常識」となっている物の見方を相対化するとともに、これからの学校教育の改善への示唆を探る。					
	到達目標	(1)テキストを正確に読むことができる。 (2)テキストを批判的に読むことができる。 (3)読み取った内容にもとづいて現代の教育を見ることが出来る。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の進め方について説明する。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を精読する(1) 【計画内容】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第3回	【テーマ】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を精読する(2) 【計画内容】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第4回	【テーマ】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を精読する(3) 【計画内容】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第5回	【テーマ】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を精読する(4) 【計画内容】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第6回	【テーマ】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を精読する(5) 【計画内容】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第7回	【テーマ】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を精読する(6) 【計画内容】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第8回	【テーマ】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を精読する(7) 【計画内容】ヴィゴツキー「新児童心理学講義」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第9回	【テーマ】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を精読する(1) 【計画内容】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第10回	【テーマ】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を精読する(2) 【計画内容】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第11回	【テーマ】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を精読する(3) 【計画内容】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第12回	【テーマ】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を精読する(4) 【計画内容】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第13回	【テーマ】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を精読する(5) 【計画内容】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第14回	【テーマ】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を精読する(6) 【計画内容】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
	第15回	【テーマ】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を精読する(7) 【計画内容】ヴィゴツキー「思春期の心理学」を読む。適宜解説を加えるが、基本的には参加者が各自の読みを提示し、それについて議論することで進める。 【準備学習の内容】あらかじめテキストを読んでおくことが望ましい。					B
テキスト	ヴィゴツキー、2002年、『新児童心理学講義』、新読書社、9784788041127 ヴィゴツキー、2004年、『思春期の心理学』、新読書社、9784788041165						
参考書	柴田義松、2006年、『ヴィゴツキー入門』、子どもの未来社、4901330608						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%		80%	
補足							
質問への対応	質問があればメールアドレス E-Mail:tito@edu.hokudai.ac.jp まで。						
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、学校心理士_必修						
その他	必ずテキストを事前に入手すること。						

科目名	学校心理学特論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	三浦 公裕						
授業の目的	ねらい	学校心理学は、学校教育において一人ひとりの子どもが学習面、心理・社会面、進路面、健康面における課題への取組の過程で出会う問題状況の解決を援助し、子どもが成長することを促進する「心理教育的援助サービス」の理論と実践を支える学問体系である。具体的には、1:学習面、心理・社会面、進路面、健康面等、子どもの学校生活をトータルに扱う。2:教師やスクールカウンセラー、保護者との連携を考慮する。3:全ての子どもを対象とする活動から特別な援助コースをもつ子どもを対象とする活動も含む。その際、心理教育的アセスメントのあり方、児童生徒、保護者、教師へのカウンセリングや学校組織へのコンサルテーションのあり方について、実際の場面を想定してスクール・サイコロジストの視点から考察する。					
	到達目標	(1)学校心理学の基本的視座について理解できる。 (2)心理教育的援助サービスの意義と内容について理解できる。 (3)学校心理士の基本的活動について理解できる。 (4)教師や保護者とのチーム援助のあり方を理解し、コンサルテーションができる。 (5)学校心理士としての倫理観を理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 学校心理学の理論的背景 【計画内容】学校心理学の定義、心理教育的援助サービス、学校心理学の三つの柱について考察する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟知しておくこと。					A、F
	第2回	【テーマ】心理教育的援助サービスのモデル 【計画内容】4種類のヘルパーの役割、3段階の心理教育的援助サービスの機能、援助サービスのシステムについて理解する。 【準備学習の内容】テキスト該当部分を読んでおく。					A、F
	第3回	【テーマ】学校心理士の活動 【計画内容】アセスメント、コンサルテーション、コーディネーション、カウンセリングの基本的機能、すすめ方についての基本を理解する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を読んでおく。					A、F
	第4回	【テーマ】教師・保護者らとのチーム援助 【計画内容】学校心理士としてのチーム援助、教師・保護者へのコンサルテーションの在り方について具体的に考察する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を読んでおく。					A、F、H
	第5回	【テーマ】学校心理士の倫理 【計画内容】人権の尊重、秘密保持と教師との連携について考察する。 【準備学習の内容】学校心理士や認定カウンセラー等の倫理綱領を読んでおく。					A、F
	第6回	【テーマ】海外の学校心理士の状況 【計画内容】アメリカ、イギリスの学校心理士の現状を理解する。 【準備学習の内容】「支え続けること」の該当部分を読んでおく。					A、F
	第7回	【テーマ】学校心理学における課題 【計画内容】子どもの学習・発達・行動・人格に関する心理学・行動科学理論と方法について整理する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を読んでおく。					A、F
	第8回	【テーマ】教育心理学と学校心理学 【計画内容】学習の基礎理論、記憶、動機付け、学習方法と教授法、個に応じた指導について考察する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を事前に読んでおく。					A、F
	第9回	【テーマ】発達心理学と学校心理学 【計画内容】発達一般、知的発達、自己意識、社会性、言語の発達について整理する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を事前に読んでおく。					A、F
	第10回	【テーマ】臨床心理学と学校心理学 【計画内容】臨床心理学、子どもの臨床的問題、アセスメント、心理療法、専門機関との連携について整理する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を事前に読んでおく。					A、F
	第11回	【テーマ】障害児心理・教育と学校心理学 【計画内容】障害児教育、障害についての医学モデルと心理学的モデル、支援と介入の方法について整理する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を事前に読んでおく。					A、F
	第12回	【テーマ】生徒指導・進路指導の領域と学校心理学 【計画内容】生徒指導・キャリア教育と学校心理学の関連を整理する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を事前に読んでおく。					A、F
	第13回	【テーマ】教育評価・心理検査の領域と学校心理学 【計画内容】アセスメント、知能検査、発達検査、適応行動尺度、学力検査、人格検査、学校組織のアセスメントを整理する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を事前に読んでおく。					A、F
	第14回	【テーマ】学校カウンセリングの領域と学校心理学 【計画内容】学校カウンセリングの位置づけ、学校心理士の役割・連携について整理する。 【準備学習の内容】テキストの該当部分を事前に読んでおく。					A、F
	第15回	【テーマ】コーチング心理学と学校心理学の関連及びまとめと確認 【計画内容】コーチングの方法と学校心理学の方法との統合を考える。 【準備学習の内容】コーチングの解説書を事前に読む。					A、L
テキスト	学校心理士資格認定委員会、2007年、『学校心理学ハンドブック』、風間書房						
参考書	日本教育心理学会、2007年、『教育心理学ハンドブック』、風間書房 石隈利紀、1999年、『学校心理学』、誠信書房、4414301491						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%			30%
	補足			レポート			レポート毎回
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、学校心理士_必修						
その他	各自作成したレポートを返却し、学んだ内容を個人やグループで振り返り、まとめの講評を行います。						

科目名	臨床心理学特論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	塩見 邦雄							
授業の目的	ねらい	はじめに、臨床心理学の基礎としての心の機能と働きについて、心についての理解の歴史的な変遷を学び、人々がこれまで心をどのように捉えてきたのかについて理解する。「原点」としての心の機能と構造について理解した後、現代の心の理解とケアへの取り組みを、心理教育援助法の理論、カウンセリング法の理論、その他多様な心理療法、コンサルテーション、知能検査や性格検査などの心理検査などのアセスメント法などについて解説し、臨床心理学の理解と知見を深める。						
	到達目標	(1)こころの機能と働きについて理解を深める。 (2)臨床心理学実践の理論・方法について理解を深める。 (3)カウンセリング等の心理療法、コンサルテーションの方法等について学ぶ。 (4)性格検査などの心理アセスメントについて理解を深める。 (5)児童生徒のこころをしなやかにする授業実践の仕方等を学ぶ。						
授業の計画	第1回	【テーマ】心と行動の基本的理解 【計画内容】「心」の機能と役割について、まず心の起源について、私たちの祖先の人たちや類人猿の心や行動から考察していく。動機づけ、愛他心、攻撃等、基本的な心の働きについて。 【準備学習の内容】心の起源や臨床心理学の歴史から臨床心理学の問題を掘り起こしていく。					A	
	第2回	【テーマ】学校教育の基盤としての臨床心理学の理解(1) 【計画内容】子どもたちの心と行動の問題については、障害や精神疾患あるいは家庭内の問題の枠組み(DSM-IVなど)から把握することができ、適切なアセスメントの方法について検討できる。異常行動の理解、DSM-IV、人格障害等。 【準備学習の内容】ノーマルな行動と異常行動についての理解を学習しておく。					G	
	第3回	【テーマ】学校教育の基盤としての臨床心理学の理解(2) 【計画内容】1)に続いて、家族の機能と病理、脳関係の知見を学ぶ。あわせて、社会的ストレスや社会の支援策などについてもふれる。 【準備学習の内容】脳構造について基本的理解をしておく。					G	
	第4回	【テーマ】多様な臨床心理学的アプローチ(1) 【計画内容】主な心理療法の枠組みをきちんと理解し、児童生徒の学校生活での困難の要因の理解と援助の枠組みとして参照できる。来談者中心的(パーソンセンタード)アプローチを理解する。 【準備学習の内容】ロジャースについて調べておく。					G	
	第5回	【テーマ】多様な臨床心理学的アプローチ(2) 【計画内容】主な心理療法の枠組みをきちんと理解し、児童生徒の学校生活での困難の要因の理解と援助の枠組みとして参照できる。「傾聴」の理解と方法について学ぶ。 【準備学習の内容】カウンセリングに於いて大切な「傾聴」とはどのようなことをするのかについて調べておく。					G	
	第6回	【テーマ】多様な臨床心理学的アプローチ(3) 【計画内容】精神分析の枠組みをしっかりと理解し、夢分析、連想、無意識など心の深層構造児童理解と治療薬の無かった時代での精神分析の働きなどについて考察する。 【準備学習の内容】精神分析の創始者で19~20世紀にかけての心の探求者フロイトについて調べる。					G	
	第7回	【テーマ】多様な臨床心理学的アプローチ(4) 【計画内容】学習理論から心の病気を理解し、「誤った思い込み」を解除させる新しい心理療法である、認知行動療法について、その枠組みをしっかりと理解し、技法および言葉使いを含めた技法の適用方法を理解する。 【準備学習の内容】学習理論のレスポネント及びオペラント条件づけ理論について復習しておくこと。					G	
	第8回	【テーマ】学校における児童生徒の問題(1) 【計画内容】不登校、いじめ、非行など、学校における児童生徒の重要な心の問題を、発達・教育上の課題として捉える際、障害や精神疾患あるいは家庭内の枠組みを参照することができる。不登校やひきこもり。 【準備学習の内容】不登校やいじめについて調べておく。					G	
	第9回	【テーマ】学校における児童生徒の問題(2) 【計画内容】虐待、ひきこもり、自殺などの児童生徒の重要な問題を、発達・教育上の課題としてさまざまな枠組みから考察する。 【準備学習の内容】虐待やひきこもりについて。					G	
	第10回	【テーマ】心理臨床等の専門家と専門機関 【計画内容】学校と連携する必要がある医療機関、司法機関、福祉機関の概略を学び、具体的な連携方法、連携上注意点を踏まえた上で、効果的な連携を検討する。 【準備学習の内容】スクールカウンセラーとの連携、医療機関との連携、福祉機関との連携などについて。					G	
	第11回	【テーマ】性格検査の実習と理解(1) 【計画内容】人格・性格は個人差の問題としてこころの把握として古く考えられてきた項目である。Y-GとSPI性格検査の実施と方法の習得。 【準備学習の内容】性格検査の機能と限界について理解しておく。					G	
	第12回	【テーマ】性格検査の実習と理解(2) 【計画内容】K-H-T-Pなどの描画法の検査実施とその習得。 【準備学習の内容】描画法の理解。					G	
	第13回	【テーマ】発達検査の実習と理解 【計画内容】発達障害に関わって心理アセスメントの方法の理解が重要視されている。発達検査の機能と方法について理解する。 【準備学習の内容】発達検査について理解する。					G	
	第14回	【テーマ】「こころの授業」実践 学校心理臨床教育実践(1) 【計画内容】「こころの授業」は、児童生徒のこころをしなやかにすることを目的とした授業である。これまでの実践事例を示し、その効用について講義をし、子どもたちの心を強くする方法を受講生で討議する。 【準備学習の内容】こころをしなやかにする、あるいは自分のこころに勇気を持たせることを目的とした「こころの授業」の方法について示し、考察する。					G	
	第15回	【テーマ】「こころの授業」実践 学校心理臨床教育実践(2) 【計画内容】前回に続き、「こころの授業」について講義する。児童生徒のこころをしなやかにすることを目的とした別の授業について、別の実践事例を示し、その効用について講義をし、受講生でも作成してみる。 【準備学習の内容】「こころの授業」の効用について考える。					G	
テキスト	塩見邦雄(監訳)、2010年、『折衷的カウンセリング』、誠信書房、9784414414394 塩見邦雄編、2007年、『対話で学ぶ臨床心理学』、ナカニシヤ出版、9784779501630							
参考書	塩見邦雄編、2006年、『スクールカウンセリング—その理論と実践』、ナカニシヤ出版、4888486611 内山喜久雄、坂野雄二、2008年、『認知行動療法の技法と臨床』、日本評論社、9784535982789 下山晴彦、2010年、『臨床心理学ブックガイド—心理職をめざす人のための93冊』、金剛出版、9784772411523							
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分		70%		30%			
質問への対応	E-Mail:knshiomi@yahoo.co.jp							
資格	[生]学校心理士_必修							
その他	毎時間レポート作成し、次の講義の冒頭でフィードバックする							

生涯学習研究科  
2年次科



科目名	特別支援教育特論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	石川 大						
授業の目的	ねらい	障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた取組が開始され、幼児教育から高等学校教育へと幅を広げている。本講義は教育の場において、一人ひとりのニーズを把握し、生活や学習上の困難の改善、克服といった理念を実現するための適切な指導及び必要な支援内容を学ぶことを目的としている。					
	到達目標	(1)特別支援教育の意義と制度について理解する。 (2)障がいの概念及び教育ニーズについて理解する。 (3)障がいの実態把握と支援方法を理解する。 (4)「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の立案ができる。 (5)校内支援体制や地域の支援体制について立案できる基礎能力を養う。					
授業の計画	第1回	【テーマ】特別支援教育とは① 【計画内容】ノーマライゼーションとの関連による意義などについて学びます。 【準備学習の内容】「インクルージョン」の定義について予習すること。				A、L	
	第2回	【テーマ】特別支援教育とは② 【計画内容】日本における法的な位置づけとイギリスにおける位置づけを学びます。 【準備学習の内容】英国のコーディネーターの役割について予習をすること。				A、F、L	
	第3回	【テーマ】障がいの診断基準(障がいの概念) 【計画内容】ICD-10、DSM-IVによる障がい区分について、発達障害を中心に学びます。 【準備学習の内容】「障がいの概念の変遷」について予習すること。				A、F、L	
	第4回	【テーマ】特別な教育ニーズ 【計画内容】ICF及びICF-CYの理解とその活用について学びます。 【準備学習の内容】WHOの「障がい概念の変遷」の背景について予習すること。				A、F、L	
	第5回	【テーマ】特別支援教育の校内体制と相談支援 【計画内容】校内委員会やコーディネーターの役割について学びます。 【準備学習の内容】校内委員会の設置率について予習すること。				A、F、L	
	第6回	【テーマ】障がいの実態把握① 【計画内容】学習や行動上の特性の把握など、最新のアセスメントの情報も併せて学びます。 【準備学習の内容】WISC-IIIとWISC-IVの違いについて予習すること。				A、J、L	
	第7回	【テーマ】障がいの実態把握② 【計画内容】WISC-IVの実際について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義の復習。				A、J、L	
	第8回	【テーマ】障がいの実態把握③ 【計画内容】学校で使用されているインフォーマルなアセスメントについて紹介します。 【準備学習の内容】前回の講義の復習。				A、J、L	
	第9回	【テーマ】「個別の教育支援計画」について 【計画内容】成立の背景とその計画内容について学びます。 【準備学習の内容】「個別の教育支援計画」の一部分を作成すること。				A、J、L	
	第10回	【テーマ】「個別の指導計画」について① 【計画内容】「個別の指導計画」を作成します。 【準備学習の内容】前回の講義を復習すること。				A、J、L	
	第11回	【テーマ】「個別の指導計画」について② 【計画内容】「個別の指導計画」を作成します。 【準備学習の内容】前回の講義を復習すること。				A、J、L	
	第12回	【テーマ】「個別の指導計画」について～(自閉症児への指導①) 【計画内容】「個別の指導計画」を作成します。 【準備学習の内容】前回の講義の復習すること。				A、J、L	
	第13回	【テーマ】「個別の指導計画」について～(自閉症児への指導②) 【計画内容】応用行動分析の手法による、指導課題へのアプローチを学びます。 【準備学習の内容】A-B-Aデザインについて予習すること。				A、F、L	
	第14回	【テーマ】「個別の指導計画」について～(自閉症児への指導③) 【計画内容】応用行動分析の手法による、指導課題へのアプローチを学びます。 【準備学習の内容】前回の講義を復習すること。				A、F、L	
	第15回	【テーマ】今後の特別支援教育の展望について 【計画内容】まとめと理想の特別支援教育の将来展望について発表します。 【準備学習の内容】講義内容を復習して、理想の特別支援教育について自分の意見を整理すること。				A、L	
テキスト	プリントを使用します						
参考書	国立特別支援教育総合研究所、2007年、『ICF及びICF-CYの活用』、ジアース教育新社、9784921124786 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		70%			
補足				レポート			
質問への対応	最初の講義時に説明します。						
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、特支専_必修、学校心理士_必修						
その他							

科目名	障害者心理学特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	伊藤 政勝						
授業の目的	ねらい	2007年度から、一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な指導や支援を行う特別支援教育が本格実施されました。この講義では、特別支援教育の理念や考え方について学ぶとともに、各障がいへの理解や心理的特性、教育や支援の在り方などを考察していきます。また障害者自立支援法など制度面からの考察も深めていきます。レジュメによる発表や意見交換を中心に講義を進めていく予定です。					
	到達目標	(1)特別支援教育の理念や、障がい者関連の法令や制度について理解する。 (2)各種障がいの基本的な理解や心理的特性について考察することができる。 (3)各種障がい者の現状や課題について意見交流することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容・展開について説明します。イメージする障がい者像についての発表・交流を行います。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟知しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】障がい者心理の意義と研究法 【計画内容】障がい者心理学の考え方や目的を理解するとともに、その研究方法について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A	
	第3回	【テーマ】障がい者の心理検査・心理療法 【計画内容】障がい者の心理検査の種類・方法を理解するとともに、さまざまな心理療法について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、B	
	第4回	【テーマ】視覚障がいの心理と認知 【計画内容】視覚障がいの分類と心理的影響について理解するとともに、触覚・聴覚・障がい物や環境・視覚の認知について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第5回	【テーマ】視覚障がいの知的特性と社会性 【計画内容】視覚障がい者の言語・記憶・学習・知能・点字触読について理解するとともに、パーソナリティや社会性について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第6回	【テーマ】聴覚障がいの心理と言語発達 【計画内容】聴覚障害者の分類と心理的影響について理解するとともに、言語能力の実態や言語発達を促進する取り組みについて学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第7回	【テーマ】聴覚障がいの知的特性と社会性 【計画内容】聴覚障がい者の記憶・思考・学習や知能・学力について理解するとともに、パーソナリティや社会性について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第8回	【テーマ】肢体不自由の心理と認知・社会性 【計画内容】肢体不自由の分類と心理的影響について理解するとともに、認知・知的特性やパーソナリティ及び社会性について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第9回	【テーマ】病弱・虚弱の心理と知的特性及び社会性 【計画内容】病弱・虚弱の分類と心理的影響について理解するとともに、知的特性や社会性について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第10回	【テーマ】知的障がいの心理と知的特性 【計画内容】知的障がいの分類と心理的影響について理解するとともに、知能の発達や知的特性について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第11回	【テーマ】知的障がい者の認知・社会性 【計画内容】知的障がい者の認知・言語・記憶・思考・学習について理解するとともに、パーソナリティや社会性について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第12回	【テーマ】学習障がいの心理と読み書き障がい 【計画内容】学習障がいの概念と診断基準について理解するとともに、読み書き障害の心理的メカニズムについて学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第13回	【テーマ】学習障がいの算数障がいや注意・社会性の障がい 【計画内容】算数障がいや注意・社会性の障がいの心理的メカニズムを理解するとともに、心理指導について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第14回	【テーマ】情緒・行動障がいの心理と自閉症 【計画内容】情緒・行動障がいの定義・分類や心理的メカニズムについて理解するとともに、自閉症の定義や心理特性について学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第15回	【テーマ】言語障がいの心理 【計画内容】言語障がいの定義と分類について理解するとともに、話し言葉の障がいや言語障がいの心理的メカニズムについて学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
テキスト	田中新正・古賀精治、2013年、『新訂障害児・障害者心理学特論』、日本放送出版協会、9784595139963						
参考書	佐藤泰正、2000年、『障害児の心理』、学芸図書、9784761603038						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
補足				レジュメ			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、特支専_必修						
その他							

科目名	障害者心理学特別演習		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	磯貝 隆之						
授業の目的	ねらい	2007年度から、一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な指導や支援を行う特別支援教育が本格実施されました。この講義では、特別支援教育の理念や考え方、ICFの新しい障がい観について学ぶとともに、発達障がい児の心理学的特性や支援の方法について考察します。またビデオ視聴や授業参観を通じて学習を深めていきたいと考えています。レジュメによる発表や意見交換を中心に講義を進めていく予定です。					
	到達目標	(1)特別支援教育の理念やICFの新しい障がい観について理解を深める。 (2)発達障がいの概念や心理特性、教育や支援について理解することができる。 (3)発達障がい児・者の現状や課題について考察することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義内容・展開について説明します。また演習の計画を立案していきます。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟知しておくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 日本の障がい概要 【計画内容】 日本の障がい児教育の変遷や障がい者が置かれてきた現状について文献研究を行いながら理解を深めていきます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第3回	【テーマ】 WHOのICF(国際生活機能分類)モデル 【計画内容】 従来のICIDH(国際障害分類)と比較しながら、ICFの新しい障がい観について理解を深めます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第4回	【テーマ】 特別支援教育への転換 【計画内容】 従来の特殊教育と比較しながら、特別支援教育の理念や基本的な考え方を理解するとともに、教育や支援についても学んでいきます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第5回	【テーマ】 LD(学習障害)① 【計画内容】 学習障害の概念や心理特性、教育や支援について学びを深め、レポートにまとめていきます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第6回	【テーマ】 LD(学習障害)② 【計画内容】 前時でまとめたレポートについて発表し、意見交流を図りながら理解を深めていきます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第7回	【テーマ】 注意欠陥多動性障害(ADHD)① 【計画内容】 注意欠陥多動性障害の概念や心理特性、教育や支援について学びを深め、レポートにまとめていきます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第8回	【テーマ】 注意欠陥多動性障害(ADHD)② 【計画内容】 前時でまとめたレポートについて発表し、意見交流を図りながら理解を深めていきます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第9回	【テーマ】 広汎性発達障害(PDD)① 【計画内容】 広汎性発達障害の概念や心理特性、教育や支援について学びを深め、レポートにまとめていきます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第10回	【テーマ】 広汎性発達障害(PDD)② 【計画内容】 前時でまとめたレポートについて発表し、意見交流を図りながら理解を深めていきます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第11回	【テーマ】 授業参観の実際 【計画内容】 近隣の小学校を訪問し、発達障がい児への実際の教育や支援について参観しレポートにまとめていきます。 【準備学習の内容】 授業参観をする学校の概要をHPで調べておくこと。	D、F				
	第12回	【テーマ】 授業参観のまとめ 【計画内容】 前時でまとめたレポートについて発表し、意見交流を図りながら考察を深めていきます。 【準備学習の内容】 学校参観の様子をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	F				
	第13回	【テーマ】 発達障がいに関する課題や支援 【計画内容】 大人の発達障がい者の社会生活や就労上の困難さ、多様な支援について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】 指定された内容をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。	A、F				
	第14回	【テーマ】 特別支援教育の展望① 【計画内容】 学部の特別支援教育実習講義における模擬授業参観や研究協議を通じて、特別支援学校における授業展開を考察していきます。 【準備学習の内容】 模擬授業参観・研究協議から学んだことをレジュメにまとめておくこと。	D、F				
	第15回	【テーマ】 特別支援教育の展望② 【計画内容】 学部の特別支援教育実習講義における模擬授業参観や研究協議を通じて、特別支援学校における授業展開を考察していきます。 【準備学習の内容】 模擬授業参観・研究協議から学んだことをレジュメにまとめておくこと。	D、F				
テキスト	田中千穂・栗原はるみ・市川奈緒子、2008年、『発達障害の心理臨床』、有斐閣アルマ、4641122687 上田敏、2005年、『ICFの理解と活用』、萌文社、9784894910966						
参考書	中村忠雄・須田正信、2007年、『はじめての特別支援教育』、明治図書、9784180287116 国立特別支援教育総合研究所、2008年、『ICF及びICF-CYの活用』、ジヤース教育新社、9784921124786						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	分		50%		50%	
補足	足			レジュメ			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他							



科目名	生涯学習支援システム論特別演習				授業形態	演習	単位数	2
教員名	谷川 松芳							
授業の目的	ねらい	生涯学習振興のための行政施策を検討し、生涯学習関連法などの関わりや歴史の変遷を踏まえながら生涯学習行政について考察する。これらの知識を深めるためにN町教育委員会の青少年教育事業として行われる放課後支援事業及び講座学級の実践的指導を学ぶ。						
	到達目標	(1)市町村行政における生涯学習推進事業のあり方を理解する。 (2)教育委員会の青少年教育事業のあり方を理解する。 (3)青少年教育に係る事業を企画し指導を体験する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 生涯学習の意義と役割 【計画内容】 自治体行政における生涯学習推進の意義と役割を学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、G	
	第2回	【テーマ】 生涯学習振興法のねらい 【計画内容】 生涯学習振興法のねらいと行政の役割を学ぶ。 【準備学習の内容】 生涯学習振興法を熟読しておくこと。					A、G	
	第3回	【テーマ】 地方自治体における生涯学習推進体制 【計画内容】 地方自治体における生涯学習行政の立場を学ぶ。 【準備学習の内容】 地方自治法、教育基本法を熟読しておくこと。					A、G	
	第4回	【テーマ】 生涯学習推進における学校の役割 【計画内容】 生涯学習推進における学校の立場と関連構造を学ぶ。 【準備学習の内容】 教育基本法を熟読しておくこと。					A、G	
	第5回	【テーマ】 市町村教育行政における青少年教育のあり方を検討 【計画内容】 青少年教育の意義と目的を検討する。 【準備学習の内容】 生涯学習としての青少年教育に関する研究報告書を熟読しておくこと。					I	
	第6回	【テーマ】 N町の概要1 【計画内容】 N町教育委員会における生涯学習実践研究(事前調査)。 【準備学習の内容】 事前配付のN町の町政要覧を熟読しておくこと。					K	
	第7回	【テーマ】 N町の概要2 【計画内容】 N町教育委員会における生涯学習実践研究(事前調査)。 【準備学習の内容】 事前配付のN町の町政要覧を熟読しておくこと。					K	
	第8回	【テーマ】 N町の概要3 【計画内容】 N町教育委員会における生涯学習実践研究(事前調査)。 【準備学習の内容】 事前配付のN町の町政要覧を熟読しておくこと。					K	
	第9回	【テーマ】 演習1 【計画内容】 N町教育委員会の青少年教育事業の企画立案 実践1。 【準備学習の内容】 事前配付の青少年教育事業の開催要項(案)を熟読しておくこと。					D	
	第10回	【テーマ】 演習2 【計画内容】 N町教育委員会主催事業の指導実践2。 【準備学習の内容】 青少年教育事業の開催要項を熟読しておくこと。					D	
	第11回	【テーマ】 演習3 【計画内容】 N町教育委員会の青少年教育の指導実践3。 【準備学習の内容】 青少年教育事業の開催要項を熟読しておくこと。					D	
	第12回	【テーマ】 演習4 【計画内容】 N町教育委員会の青少年教育事業の指導実践4。 【準備学習の内容】 青少年教育事業の開催要項を熟読しておくこと。					D	
	第13回	【テーマ】 演習5 【計画内容】 N町教育委員会の青少年教育事業の指導実践5。 【準備学習の内容】 青少年教育事業の開催要項を熟読しておくこと。					D	
	第14回	【テーマ】 演習6 【計画内容】 N町教育委員会の青少年教育事業の報告。 【準備学習の内容】 青少年教育事業評価を行い報告原稿を作成しておくこと。					F	
	第15回	【テーマ】 演習のまとめ 【計画内容】 演習の反省評価を行う。実習をふり返り小論文を作成する。 【準備学習の内容】 レポートで自己の反省評価を行う。					L	
テキスト	プリントを使用する							
参考書	講義時に配付する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分		50%	50%				
補足								
質問への対応	講義の前後で行います。							
資格								
その他	市町村の教育委員会事務局において青少年教育事業の実践的な体験実習を展開する。							

科目名	生涯学習行政論特別演習				授業形態	演習	単位数	2
教員名	高田 茂							
授業の目的	ねらい	地方自治体における生涯学習とその行政についての基礎理論を踏まえ、生涯学習推進計画が作成された実施過程について、最近の地方自治体生涯学習先行研究書を参考にしながら各地域・領域の実践事例がいかに作成されたかを学習し、地方自治体職員の生涯学習行政にかかわる能力の育成・向上に努める。						
	到達目標	(1)生涯学習行政理論についての理解を深める。 (2)最近の生涯学習行政の方針や推進過程を検討する。 (3)地方自治体の特色ある生涯学習行政の事例を検討する。 (4)演習を通じてレポート発表や集団討議の方法に熟達する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業ガイダンス 【計画内容】 授業を紹介し、毎回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】 生涯学習など関係法令を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 我が国における生涯学習概念の転換 【計画内容】 生涯学習・社会教育など審議会の経緯、教育基本法を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、B
	第3回	【テーマ】 地方分権改革と生涯学習行政の展開 【計画内容】 地方分権に基づく広範な推進と構造改革特区について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、B
	第4回	【テーマ】 国及び地方公共団体の環境醸成義務と社会教育費の縮減 【計画内容】 地方教育費と社会教育費について学びます。 【準備学習の内容】 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること。						A、B
	第5回	【テーマ】 住民による生涯学習の推進とその課題 【計画内容】 組織体制、事業、活動内容について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。						A、G
	第6回	【テーマ】 NPO法制定による生涯学習の推進とその課題・施設見学 【計画内容】 組織体制、事業、活動内容より、行政と住民の役割分担について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。						A、B
	第7回	【テーマ】 公益財団法人による生涯学習の普及・振興に資する各種事業とその課題 【計画内容】 組織体制、各種事業、活動について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。						A、B
	第8回	【テーマ】 生涯学習関連機関との連携による生涯学習の普及振興 【計画内容】 生涯学習関連団体との連携、講座、各種事業、活動について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、G
	第9回	【テーマ】 地域資源を活かしたまちづくりの展開 【計画内容】 新潟県A市でのまちづくりを含め他地域での取り組み事例について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						B
	第10回	【テーマ】 地域市民への生涯学習の機会・提供の展開 【計画内容】 埼玉県B市を含め他地域での生涯学習の取り組み事例について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						B
	第11回	【テーマ】 市民参加及び協働による市民活動の推進に向けた生涯学習施策の展開 【計画内容】 石川県C市を含め他地域での生涯学習の取り組み事例について学びます。 【準備学習の内容】 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること。						B
	第12回	【テーマ】 学びの成果を生かした学校支援ボランティアの展開 【計画内容】 福岡県D市の熟年者ボランティアを含め他地域での取り組み事例について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						B
	第13回	【テーマ】 絵本の読み聞かせによる学校支援の展開 【計画内容】 東京都E区を含め他地域での生涯学習の取り組み事例について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						B
	第14回	【テーマ】 市民がつくる生涯学習の活動・施策の展開 【計画内容】 兵庫県F市を含め他地域での生涯学習の取り組み事例について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						B
	第15回	【テーマ】 少子高齢化社会に対応する生涯学習施策の展開・まとめ 【計画内容】 G県を含め他地域での生涯学習の取り組み事例について学びます。 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習し、理解を深めておくこと。全体を振り返る。						B
テキスト	プリントを配付します							
参考書	関口礼子他、2018年、『新しい時代の生涯学習』、有斐閣アルマ 岡本薫、2012年、『新訂入門生涯学習政策』、全日本社会教育連合会 大桃敏行、2010年、『生涯学習—多様化する自治体施策—』、東洋館出版社							
成績評価の方法	筆記試験		実技試験		課題評価		作品評価	
	配分	補足			50%		受講態度	その他
質問への対応	初回講義時に具体的に提示します。							
資格								
その他								



科目名	心理検査特別演習Ⅰ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	石塚 誠之							
授業の目的	ねらい	心理検査の歴史について概観した上で、ロールプレイを通して心理検査の実施方法を体験的に学ぶ。また、検査実施後に行う報告書作成の手順や保護者へのフィードバックの手立てについて理解を深める。						
	到達目標	(1)様々な心理検査の目的について説明できる。 (2)各々の検査を子どもに実施できるようになる。 (3)各々の検査の効用と限界を踏まえたうえで報告書を作成できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の概要について説明したあと、様々な心理検査の歴史や目的について学ぶ。 【準備学習の内容】参考図書を読んでおくこと。					B	
	第2回	【テーマ】心理検査における報告書の作成について 【計画内容】心理検査における報告書の書き方及び獣医事項について事例をもとに学ぶ。 【準備学習の内容】参考図書を読んでおくこと。					B	
	第3回	【テーマ】WISC-Ⅳ知能検査のロールプレイ(1) 【計画内容】実施方法について確認した上で、検査の実施者の役割をロールプレイにより体験する。 【準備学習の内容】WISC-Ⅳ知能検査の手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第4回	【テーマ】WISC-Ⅳ知能検査のロールプレイ(2) 【計画内容】実施方法について確認した上で、検査の被験者の役割をロールプレイにより体験する。 【準備学習の内容】WISC-Ⅳ知能検査の手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第5回	【テーマ】WISC-Ⅳ知能検査のロールプレイ(3) 【計画内容】実施した検査の結果をもとに報告書を作成し、それに関するディスカッションを行う。 【準備学習の内容】WISC-Ⅳ知能検査の手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第6回	【テーマ】日本版 KABC-Ⅱのロールプレイ(1) 【計画内容】実施方法について確認した上で、検査の実施者の役割をロールプレイにより体験する。 【準備学習の内容】日本版 KABC-Ⅱの手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第7回	【テーマ】日本版 KABC-Ⅱのロールプレイ(2) 【計画内容】実施方法について確認した上で、検査の被験者の役割をロールプレイにより体験する。 【準備学習の内容】日本版 KABC-Ⅱの手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第8回	【テーマ】日本版 KABC-Ⅱのロールプレイ(3) 【計画内容】実施した検査の結果をもとに報告書を作成し、それに関するディスカッションを行う。 【準備学習の内容】日本版 KABC-Ⅱの手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第9回	【テーマ】WPPSI-Ⅲ知能検査のロールプレイ(1) 【計画内容】実施方法について確認した上で、検査の実施者の役割をロールプレイにより体験する。 【準備学習の内容】WPPSI-Ⅲ知能検査の手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第10回	【テーマ】WPPSI-Ⅲ知能検査のロールプレイ(2) 【計画内容】実施方法について確認した上で、検査の被験者の役割をロールプレイにより体験する。 【準備学習の内容】WPPSI-Ⅲ知能検査の手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第11回	【テーマ】WPPSI-Ⅲ知能検査のロールプレイ(3) 【計画内容】実施した検査の結果をもとに報告書を作成し、それに関するディスカッションを行う。 【準備学習の内容】WPPSI-Ⅲ知能検査の手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第12回	【テーマ】DN-CAS認知評価システムのロールプレイ(1) 【計画内容】実施方法について確認した上で、検査の実施者の役割をロールプレイにより体験する。 【準備学習の内容】DN-CAS認知評価システムの手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第13回	【テーマ】DN-CAS認知評価システムのロールプレイ(2) 【計画内容】実施方法について確認した上で、検査の被験者の役割をロールプレイにより体験する。 【準備学習の内容】DN-CAS認知評価システムの手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第14回	【テーマ】DN-CAS認知評価システムのロールプレイ(3) 【計画内容】実施した検査の結果をもとに報告書を作成し、それに関するディスカッションを行う。 【準備学習の内容】DN-CAS認知評価システムの手引書を読んでおくこと。					B、N	
	第15回	【テーマ】報告書をもとにしたフィードバックとまとめ 【計画内容】各報告書をどのように関係機関・保護者に伝えるのか、その活用について事例をもとに学ぶ。 【準備学習の内容】実施した検査結果のデータを吟味する。					B	
テキスト	各検査の手引書を使用します							
参考書	松原達也編、2002年、『心理テスト法入門』、日本文化科学社 上野一彦・海津亜希子・服部美佳子編、2005年、『軽度発達障害児の心理アセスメント』、日本文化科学社 藤田和弘・上野一彦・前田久男・石隈利紀・大六一志編、2005年、『WISC-Ⅲアセスメント事例集』、日本文化科学社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		50%				
補足	検査終了ごと							
質問への対応	その場で解答します。最後の時間に質疑応答の時間を設けます。							
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、特支専_必修、学校心理士_必修							
その他								

科目名	心理検査特別演習Ⅱ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	前田 整							
授業の目的	ねらい	困りごとや生きづらさを持った人たちと関わっていくためには、状態をアセスメントし、それを臨床的に役立てていくためのスキルが必要となります。知能検査や性格検査を数種取り上げそれらを実際に体験しながら、実践に生かしていくための方法について学んでいきます。						
	到達目標	(1)心理アセスメントの理論、方法を学習する。 (2)知能検査、性格検査を実際に体験する。 (3)結果に基づき、相談者に役立つ実践について考える。						
授業の計画	第1回	【テーマ】心理教育アセスメントとは 【計画内容】心理教育アセスメントの定義と目的 【準備学習の内容】参考書を読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】心理教育アセスメントの方法 【計画内容】心理検査の一般的留意事項と報告書の書き方 【準備学習の内容】参考書を読んでおくこと。					A	
	第3回	【テーマ】知能検査-1 【計画内容】K-ABCの実施と解釈 【準備学習の内容】手引書を読んでおくこと。					A、D	
	第4回	【テーマ】知能検査-2 【計画内容】WAIS-Ⅲの実施 【準備学習の内容】手引書を読んでおくこと。					A、D	
	第5回	【テーマ】知能検査-3 【計画内容】WAIS-Ⅲの解釈 【準備学習の内容】手引書を読んでおくこと。					A、D	
	第6回	【テーマ】知能検査-4 【計画内容】知能検査と発達の理解 【準備学習の内容】前回までの知能検査の結果を整理する。					A、H	
	第7回	【テーマ】知能検査-5 【計画内容】結果にもとづいた指導計画の作成 【準備学習の内容】参考書を読んでおくこと。					F	
	第8回	【テーマ】性格検査-1 【計画内容】性格診断と臨床的理解 【準備学習の内容】参考書を読んでおくこと。					A	
	第9回	【テーマ】性格検査-2 【計画内容】質問紙法の実施と解釈 【準備学習の内容】手引書を読んでおくこと。					A、D	
	第10回	【テーマ】性格検査-3 【計画内容】投影法検査の実施 【準備学習の内容】手引書を読んでおくこと。					A、D	
	第11回	【テーマ】性格検査-4 【計画内容】投影法検査の解釈① 【準備学習の内容】手引書を読んでおくこと。					A、D	
	第12回	【テーマ】性格検査-5 【計画内容】投影法検査の解釈② 【準備学習の内容】手引書を読んでおくこと。					A、D	
	第13回	【テーマ】性格検査-6 【計画内容】結果にもとづいた指導計画の作成 【準備学習の内容】前回までの性格検査を整理する。					A、H	
	第14回	【テーマ】心理検査の活用 【計画内容】学校現場に役立つ報告、実践を考える。 【準備学習の内容】これまでの講義で理解したことをまとめておく。					F	
	第15回	【テーマ】総合的アセスメント 【計画内容】まとめと振り返り 【準備学習の内容】参考書を読んでおくこと。					F、H	
テキスト	下山晴彦、2008年、『臨床心理アセスメント入門』、金剛出版、4772410449 プリントを配付する							
参考書	上野一彦他、2005年、『軽度発達障害の心理アセスメント』、日本文化科学社 講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分		30%	30%		30%	10%	
	補足		実習への取り組みと理解	レポート		発言や周囲の意見への尊重	取り組み	
質問への対応	随時。ただし実習中はその限りではないので、初回講義時に説明します。							
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、特支専_必修、学校心理士_必修							
その他								

科目名	学校心理学特別演習				授業形態	演習	単位数	2
教員名	山谷 敬三郎							
授業の目的	ねらい	学校生活における児童生徒の学習面、心理・社会面、進路面、及び健康面に関わる諸問題について、カウンセリング、コンサルテーション等の諸理論をふまえて、学校という場にふさわしい視点で対処するための理論と方法を活用できるように実習を含めて展開する。特に実習では、「関わりづくりに関する実習」「傾聴実習」「カウンセリングプロセス・コンサルテーション・コーディネーションに関する包括的な実習」をとりあげ、人間関係の中で、子ども自身や援助者、また、組織の問題解決にあたる能力の基盤の獲得を目指す内容とする。						
	到達目標	(1)学校におけるカウンセリングの方法を習得する。 (2)学校におけるコンサルテーションの方法を習得する。 (3)学校におけるコーディネーションの方法を習得する。 (4)学校における心理教育的援助サービスの実践的課題についての知識・技能について習得する。 (5)子どもへの直接的な援助のかかわりについての基本的方法を習得する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 学校カウンセリングの理論と方法 【計画内容】 心理教育的援助サービスの基本的理論と方法を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第2回	【テーマ】 学校で活用できるカウンセリングの理論と方法 【計画内容】 認知カウンセリング、プリーセラピー、SGE、SST、マイクロカウンセリングの基本的方法を理解する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第3回	【テーマ】 学校におけるコンサルテーション 【計画内容】 校内委員会の運営、援助チームシートの作成について理解する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第4回	【テーマ】 学校におけるコーディネーション 【計画内容】 コーディネートの意味、校内資源の活用、専門機関との連携について理解する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第5回	【テーマ】 学校における実践上の諸問題と対応 【計画内容】 学級担任との連携、保護者への対応、学校組織への介入の方法について理解する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第6回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(1) 【計画内容】 非言語的関わり技法(ペースング、キャリブレーション)について習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第7回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(2) 【計画内容】 エンカウンターについてのすすめ方を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第8回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(3) 【計画内容】 ロールプレイング、心理劇のすすめ方を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第9回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(4) 【計画内容】 質問技法、言い換え、励ましなどの技法を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第10回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(5) 【計画内容】 感情の反映、コミットメントの方法など、傾聴の方法を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第11回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(6) 【計画内容】 具体的に模擬実習を取り入れ、学校カウンセリング・コンサルテーションの方法を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第12回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(7) 【計画内容】 具体的に模擬実習を取り入れ、学校カウンセリング・コンサルテーションの方法を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第13回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(8) 【計画内容】 具体的に模擬実習を取り入れ、学校カウンセリング・コンサルテーションの方法を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第14回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(9) 【計画内容】 具体的に模擬実習を取り入れ、学校カウンセリング・コンサルテーションの方法を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
	第15回	【テーマ】 学校におけるカウンセリングの技術(10)/まとめと確認 【計画内容】 具体的に模擬実習を取り入れ、学校カウンセリング・コンサルテーションの方法を習得する。 【準備学習の内容】 参考図書の該当部分を事前に読んでおく。					F	
テキスト	伊藤美奈子・平野直巳編著、2003年、『学校臨床心理学入門』、有斐閣アルマ、4641122008							
参考書	学校心理士資格認定委員会、2007年、『学校心理学ハンドブック』、風間書房 國分康孝、2002年、『カウンセリングの理論』、誠信書房 石隈利紀、1999年、『学校心理学』、誠信書房							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			70%			30%	
補足				レポート			レポート毎回	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必、学校心理士_必修							
その他	毎回レポートを作成し、次回の授業の冒頭でフィードバックする。							

科目名	生涯スポーツ特論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	浅尾 秀樹						
授業の目的	ねらい	日常にあるスポーツや身体運動について生涯健康・生涯スポーツの視点から再検討します。生涯にわたるライフステージを大まかに乳幼児・児童期、青少年期、中年期、高齢期として、それぞれの時期における運動・スポーツと健康について様々な視点から考察します。そのうえで特定のテーマを設定し、収集した資料をもとに討論し、これからの生涯スポーツのあり方を探っていきます。					
	到達目標	(1)生涯スポーツの現状と課題について理解する。 (2)自らの論点を客観的に論ずることができる。 (3)課題解決のための方法を理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の内容を理解し学習計画を立てる。 【準備学習の内容】シラバスの精読。				A	
	第2回	【テーマ】生涯スポーツとは 【計画内容】生涯スポーツとしての研究対象や歴史等について理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第3回	【テーマ】生涯スポーツと健康課題 【計画内容】ライフステージと健康課題について理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第4回	【テーマ】乳幼児期の運動・スポーツと健康1 【計画内容】乳幼児期の運動・スポーツと健康に関する課題を理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第5回	【テーマ】乳幼児期の運動・スポーツと健康2 【計画内容】乳幼児期の運動・スポーツと健康に関する課題を理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第6回	【テーマ】青少年期の運動・スポーツと健康1 【計画内容】青少年期の運動・スポーツと健康に関する課題を理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第7回	【テーマ】青少年期の運動・スポーツと健康2 【計画内容】青少年期の運動・スポーツと健康に関する課題を理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第8回	【テーマ】中年期の運動・スポーツと健康1 【計画内容】中年期の運動・スポーツと健康に関する課題を理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第9回	【テーマ】中年期の運動・スポーツと健康2 【計画内容】中年期の運動・スポーツと健康に関する課題を理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第10回	【テーマ】高齢期の運動・スポーツと健康1 【計画内容】高齢期の運動・スポーツと健康に関する課題を理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第11回	【テーマ】高齢期の運動・スポーツと健康2 【計画内容】高齢期の運動・スポーツと健康に関する課題を理解する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第12回	【テーマ】課題の抽出・資料収集 【計画内容】資料をもとに、研究課題を抽出する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第13回	【テーマ】意見発表・討論1 【計画内容】資料をもとに、意見発表・討論する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第14回	【テーマ】意見発表・討論2 【計画内容】資料をもとに、意見発表・討論する。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。				A、G	
	第15回	【テーマ】最終発表と講義のまとめ 【計画内容】最終発表とレポートの作成をする。 【準備学習の内容】これまでの整理をしておく。				A、G、L	
テキスト	プリントを使用します						
参考書	講義の中で説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	提出課題についての討論の時間を確保し理解を深めます。						



科目名	生涯学習施設運営特論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	村松 幹男							
授業の目的	ねらい	生涯学習社会を迎え、芸術活動の表現の場として、様々な文化施設がある。本講では、特に劇場を中心とした公共文化施設の運営の実態や公共文化施設を支えるシステムについて調査・考察を行う。						
	到達目標	(1)公共文化施設の定義について考察できる。 (2)劇場法について理解する。 (3)公共文化施設(主に劇場)の経営について考察できる。 (4)北海道の劇場の実態を理解する。 (5)まちづくりと公共文化施設について考察できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】特論・研究論。この特論のやり方を説明。 【準備学習の内容】シラバス全体を熟読すること。					A	
	第2回	【テーマ】公共文化施設とは何か1 【計画内容】様々な文献における公共文化施設についての定義について調査したものを発表する。 【準備学習の内容】指定された資料を良く読んでおくこと。					J	
	第3回	【テーマ】公共文化施設とは何か2 【計画内容】公共文化施設に関する明確な定義はない。公共文化施設とは何かを考える。 【準備学習の内容】指定された資料を良く読んでおくこと。					J	
	第4回	【テーマ】劇場法1 【計画内容】劇場法について理解する。 【準備学習の内容】指定された資料を良く読んでおくこと。					B	
	第5回	【テーマ】劇場法2 【計画内容】劇場法の問題点について考察する。 【準備学習の内容】指定された資料を良く読み、発表できるようにしておくこと。					B	
	第6回	【テーマ】公共文化施設(主に劇場)の経営について1 【計画内容】公共文化施設(主に劇場)の経営について調査・研究を行う。 【準備学習の内容】指定された資料を良く読んでおくこと。					J	
	第7回	【テーマ】公共文化施設(主に劇場)の経営について2 【計画内容】公共文化施設(主に劇場)の経営について考察する。 【準備学習の内容】指定された資料を良く読み、発表できるようにしておくこと。					J	
	第8回	【テーマ】北海道の劇場の実態1 【計画内容】北海道の劇場について概観する。 【準備学習の内容】指定された資料を良く読んでおくこと。					J	
	第9回	【テーマ】北海道の劇場の実態2 【計画内容】北海道の劇場を一つ選択し、その劇場の実態について調査する-1。 【準備学習の内容】必要な資料を収集し、読んでおくこと。					J	
	第10回	【テーマ】北海道の劇場の実態3 【計画内容】北海道の劇場を一つ選択し、その劇場の実態について調査する-2。 【準備学習の内容】必要な資料を収集し、読んでおくこと。					J	
	第11回	【テーマ】北海道の劇場の実態4 【計画内容】北海道の劇場についての調査結果を発表する。 【準備学習の内容】発表できるようにレポート化すること。					B	
	第12回	【テーマ】まちづくりと公共文化施設1 【計画内容】公共文化施設(主に劇場)とまちづくりについて調査する。 【準備学習の内容】指定された資料を良く読んでおくこと。					J	
	第13回	【テーマ】まちづくりと公共文化施設2 【計画内容】公共文化施設(主に劇場)とまちづくりについて調査する。 【準備学習の内容】調査結果をまとめること。					J	
	第14回	【テーマ】まちづくりと公共文化施設3 【計画内容】公共文化施設(主に劇場)とまちづくりについての調査結果を発表する。 【準備学習の内容】発表できるようにレポート化すること。					B	
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】本講で学んだことをまとめる。 【準備学習の内容】本講で行ったことを振り返っておくこと。					L	
テキスト	初回講義時に提示します							
参考書	参考資料は講義時に提示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
	補足			レポート		発表		
質問への対応	随時直接対応します。							
資格								
その他	指定した参考文献は必ず読むこと。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回目の「振り返りと確認」時に行う。							

科目名	生涯美術特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	林 亨						
授業の目的	ねらい	本講義では、人間が一生に渡ってかかわる美術活動すべてを「生涯美術」とし、実際にどのような活動があるのか、そしてどのような問題があるのかを考察する。また、学校教育における美術教育と、学校教育終了後の生涯美術活動の連携や、美術の普及活動、地域との運動活動など今日的課題についても考察する。関係文献、資料、作品などから幅広く研究するとともに、実際の活動場面やパブリックアートの調査などフィールドワークも取り入れる。					
	習得	(1)生涯美術の概念及び内容を理解できる。 (2)生涯美術の今日的課題を理解し具体的に説明できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス:講義の内容や展開方法と留意事項等を説明する 【計画内容】 生涯美術について事例紹介をし、受講生が関心を持つような働きかけをする。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読み講義の内容を把握しておくこと。				A、K	
	第2回	【テーマ】 生涯美術の現状理解1 【計画内容】 生涯学習の概念の中で生涯美術がどのように位置づけられ、具体的にどのような活動がされているのか学ぶ。 【準備学習の内容】 指定したテキストを読み、内容を把握しておくこと。				A	
	第3回	【テーマ】 生涯美術の現状理解2 【計画内容】 生涯学習の概念の中で生涯美術がどのように位置づけられ、具体的にどのような活動がされているのか学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。				A、L	
	第4回	【テーマ】 学校教育における美術教育の問題点1 【計画内容】 学校教育において生涯学習を見据えた美術教育がどのようになされているか、また学習指導要領などの指針にどのように示されているか理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。				A、I	
	第5回	【テーマ】 学校教育における美術教育の問題点2 【計画内容】 学校教育において生涯学習を見据えた美術教育がどのようになされているか、また学習指導要領などの指針にどのように示されているか理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す復習課題に取り組む、理解を深めておくこと。				A	
	第6回	【テーマ】 大学生と生涯美術 【計画内容】 大学生がどの程度美術活動に興味を持っているか、また大学における美術に関する講義やサークル活動などの実施状況について調べる。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。				A、I	
	第7回	【テーマ】 社会教育と生涯美術1 【計画内容】 社会教育としての美術活動の実態と内容について調べ、美術活動の社会的ニーズについて考察する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。				A	
	第8回	【テーマ】 社会教育と生涯美術2 【計画内容】 学校教育での美術教育が社会教育の美術活動にどのように繋がっているか考察する。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(中間レポート)				A、I	
	第9回	【テーマ】 企業と生涯美術1 【計画内容】 社会的に大きな存在である企業が美術とどう関わっているのか理解し、問題点を考察する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。				A、I	
	第10回	【テーマ】 企業と生涯美術2 【計画内容】 企業が社会貢献として実施している文化活動としてのメセナ活動の意義や実情を考察する。 【準備学習の内容】 前回配付した「まとめ」のプリントについて理解を深めておくこと。				A、I	
	第11回	【テーマ】 パブリックアートについて 【計画内容】 パブリックアートの意義や実情について学ぶ。併せて、北海道のパブリックアートについて考察する。 【準備学習の内容】 前回配付した「まとめ」のプリントについて理解を深めておくこと。				A、M	
	第12回	【テーマ】 美術の普及活動1 【計画内容】 美術館や博物館などが実施している普及活動について、現状と問題点を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。				A、M	
	第13回	【テーマ】 美術の普及活動2 【計画内容】 アートNPOなどの民間団体が実施している普及活動について、現状と問題点を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。				A、M	
	第14回	【テーマ】 美術の普及活動3 【計画内容】 国や市町村などが実施している普及活動について、現状と問題点を学ぶ。 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておく。				A、L	
	第15回	【テーマ】 生涯美術の今後の課題 【計画内容】 生涯学習の中で美術活動の意義を整理し、現状をまとめる。さらに今後の課題について考察する。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(期末レポート)				A、G	
テキスト	適宜自作プリントなどを使用します						
参考書	本田洋一、2016年、『アートの力と地域イノベーション』、水曜社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		20%	10%
補足							
質問への対応	Eメールアドレスやオフィスアワーの時間など、問い合わせ先と方法については講義時に示します。						
資格							
その他							

科目名	生涯美術指導特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	山崎 正明						
授業の目的	ねらい	美術教育は、人間の視覚をはじめ多様な感覚や思考力に直接働きかけ、知性と感性の豊かな人格形成に重要な役割を果たす。また、生涯学習においても美術がかかわる比重は大きいものである。本講義では、こうした美術教育分野において、学部で修得した美術教育の基礎、あるいは実践経験から浮上した課題等を基盤に、さらなる美術や教育に関する専門性を身につけ、教育現場や社会における美術教育の実践や研究をリードし得る人材の育成を目的とした研究指導を行う。特に、社会と美術活動とのかわりについて、①各世代ごとの美術活動について、②アートマネジメント③アートワークショップの3点を軸に考察と実践を展開していく。					
	到達目標	(1)生涯教育における美術活動について知ることが出来る。 (2)美術指導者として必要な基礎知識を身に付けることが出来る。 (3)美術指導に必要な基礎技術を身に付けることが出来る。 (4)アートマネジメントの基礎知識を身に付けることが出来る。 (5)アートと社会を結びつける人材としての企画運営力を身に付けることが出来る。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義の概要、展開などについて説明します。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、K				
	第2回	【テーマ】 生涯美術の概念 【計画内容】 生涯美術の基本的な考え方について学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、K				
	第3回	【テーマ】 子供の美術活動と指導① 【計画内容】 0歳～幼児期の美術活動と指導について学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、K				
	第4回	【テーマ】 子供の美術活動と指導② 【計画内容】 幼児期～児童期の美術活動と指導について学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、K				
	第5回	【テーマ】 青少年期の美術活動と実技指導① 【計画内容】 中学校～高等学校の美術活動と指導について学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、K				
	第6回	【テーマ】 青少年期の美術活動と実技指導② 【計画内容】 中学校～高等学校の美術活動と指導について学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、K				
	第7回	【テーマ】 成人の美術活動と実技指導① 【計画内容】 青年期～壮年期の美術活動と指導について学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、K				
	第8回	【テーマ】 成人の美術活動と実技指導② 【計画内容】 中年期～老年期の美術活動と指導について学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、K				
	第9回	【テーマ】 アートマネジメントの考察と実践① 【計画内容】 アートマネジメントについて学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、K				
	第10回	【テーマ】 アートマネジメントの研究と実践② 【計画内容】 地域組織との連携とワークショップの企画・運営について学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、B				
	第11回	【テーマ】 まちなかアートマネジメントのまとめと実践③ 【計画内容】 子どものアートワークショップの企画・運営について学びます。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、B				
	第12回	【テーマ】 アートワークショップの実践① 【計画内容】 アートワークショップを企画立案し作品制作をします。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、E				
	第13回	【テーマ】 アートワークショップの実践② 【計画内容】 作品制作をします。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	E				
	第14回	【テーマ】 アートワークショップのまとめと実践③ 【計画内容】 アートワークショップを実践します。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。	A、E				
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 まとめとレポートについて。 【準備学習の内容】 参考書を読んでおくこと。配付資料をまとめておくこと。	A、H、L				
テキスト	適宜配付します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			50%		50%	
質問への対応	講義中もしくは研究室まで申し出ること。						
資格							
その他	アートに関する事柄全般を学びます。意欲のある学生を希望します。						



科目名	美術鑑賞特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	林 亨						
授業の目的	ねらい	本講義では、生涯学習社会における美術鑑賞の在り方とその具体的方法について、現在の多面的な展開を把握しながら研究する。また、アートを紹介したコミュニケーションに注目した対話型鑑賞法やワークショップ型鑑賞法、また高度情報化社会の中での新たな鑑賞法も模索する。関係文献、資料、作品などから幅広く研究するとともに、美術館やギャラリー、パブリックアートの調査などフィールドワークも取り入れる。					
	習得	(1)生涯学習社会における美術鑑賞の意義と現状を理解できる。 (2)生涯学習社会における美術鑑賞の今日的課題を説明できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義の内容や展開方法、留意事項等を説明する。美術鑑賞について事例紹介をし、受講生が関心を持つような働きかけをする。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読み講義の内容を把握しておくこと。	A、K				
	第2回	【テーマ】 美術鑑賞のメカニズム 【計画内容】 美術鑑賞の基本構造を理解し、その意義と有用性について学ぶ。 【準備学習の内容】 指定したテキストを読み、内容を把握しておくこと。	A				
	第3回	【テーマ】 美術鑑賞の意義(1) 【計画内容】 美術鑑賞の意義について考えるために、鑑賞法の歴史的経緯について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A				
	第4回	【テーマ】 美術鑑賞の意義(2) 【計画内容】 美術鑑賞の意義について考えるために、現状と鑑賞法の類型化について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、I				
	第5回	【テーマ】 美術鑑賞の方法(1) 【計画内容】 実物の美術作品を介しての鑑賞法について、その特徴や有用性について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、I				
	第6回	【テーマ】 美術鑑賞の方法(2) 【計画内容】 画集などの印刷物を介しての鑑賞法とインターネット上のウェブサイトなどを介しての鑑賞法について、その特徴や有用性について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、I				
	第7回	【テーマ】 美術鑑賞の方法(3) 【計画内容】 ワークショップなど実際に作品制作を併用した鑑賞法について、その特徴や有用性について学ぶ。 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておく。	A、H、I				
	第8回	【テーマ】 美術鑑賞と美術館(1) 【計画内容】 美術館の歴史的経緯と役割などの変遷について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、M				
	第9回	【テーマ】 美術鑑賞と美術館(2) 【計画内容】 美術館の具体的な役割(作品収蔵、展示、普及活動など)について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	M				
	第10回	【テーマ】 美術鑑賞と美術館(3) 【計画内容】 美術館の今日的課題と問題点について学ぶ。特に、展覧会のコンセプトと経営の在り方について詳しく学ぶ。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(中間レポート)	M				
	第11回	【テーマ】 美術鑑賞と街づくり(1) 【計画内容】 地域社会に根ざした新たな鑑賞形態を「越後妻有アートトリエンナーレ」などを題材にして考察する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A				
	第12回	【テーマ】 美術鑑賞と街づくり(2) 【計画内容】 地域社会に根ざした新たな鑑賞形態を「札幌国際芸術祭」などを題材にして考察する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、I				
	第13回	【テーマ】 鑑賞の実際(1) 【計画内容】 近郊の美術館を訪問して、鑑賞の実際を体験し、これまでの学びを検証する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	I、M				
	第14回	【テーマ】 鑑賞の実際(2) 【計画内容】 近郊のギャラリーやオルタナティブスペースを訪問し、新たな鑑賞形態について模索する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	I、M				
	第15回	【テーマ】 生涯学習社会における美術鑑賞の今後の課題 【計画内容】 美術鑑賞の意義を整理し、現状をまとめる。さらに今後の課題について考察する。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(最終レポート)	A、G				
テキスト	適宜自作プリントなどを使用します						
参考書	上野行一、2014年、『風神雷神はなぜ笑っているのか』、光村図書 横山勝彦ほか、2010年、『美術館を知るキーワード』、美術出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		20%	20%
補足							
質問への対応	Eメールアドレスやオフィスアワーの時間など、問い合わせ先と方法については講義時に示します。						
資格							
その他							



科目名	高齢者学習特論		授業形態	講義	単位数	2
教員名	木村 純					
授業の目的	ねらい	高齢者を学習の主体として理解し、高齢者の学習を支援するためには、老いとその先の死をどう捉え、どのように学ぶかということが重要です。老いと死について、高齢者自身の学習と実践の事例も検討しながらそのことを考えてみます。講義を中心としてすすめますが、老いや高齢者を理解するためのワークショップなどに取り組み演習方式も取り入れて講義を進めます。				
	到達目標	(1)老いと死はどのように認識されてきたかを知る。 (2)高齢者を対象とする教育学がどのように生まれ、発展してきたかを知る。 (3)私たち自身が老いと死についてどのように学ぶべきかを知る。 (4)高齢者を対象とする社会教育活動の実態と課題を知る。 (5)高齢者を対象とする社会教育活動の方法を理解する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講師自身が今まで高齢者の学習にどのように関わってきたかを紹介し、受講者の老いへのイメージを確認し、講義計画を説明し、各自の受講目的の明確化を促す。 【準備学習の内容】 シラバスを読み、自分自身が持つ老い・高齢者に対するイメージを確認する。			A	
	第2回	【テーマ】 老いと高齢者の理解とその意義 【計画内容】 エイジズムがなぜ批判されるようになったのか、高齢者研究のパラダイムの転換がなぜ起こったのかについて講義を行う。 【準備学習の内容】 第1回に配付する講義資料をよく読んで参加すること。			A	
	第3回	【テーマ】 現代の老いと高齢者の生活をめぐって(1) 【計画内容】 現代社会において、老いと高齢者の現状がどのようになっているのか、福祉や介護問題などについて理解し、高齢者の生活課題について考える。 【準備学習の内容】 第2回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A	
	第4回	【テーマ】 現代の老いと高齢者の生活をめぐって(2) 【計画内容】 第3回に引き続き、高齢者の社会参加や孤立の問題について考える。 【準備学習の内容】 第3回目に配付する資料をよく読んで参加すること。			A、H	
	第5回	【テーマ】 老年学の展開と教育老年学(1)欧米における展開 【計画内容】 欧米における老年学の展開と教育老年学の誕生と展開について学ぶ。 【準備学習の内容】 第4回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A	
	第6回	【テーマ】 老年学の展開と教育老年学(2)日本における展開 【計画内容】 日本における教育老年学の展開について堀薫夫らの研究について学ぶ。 【準備学習の内容】 第5回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A、H	
	第7回	【テーマ】 豊かな老いを実現する高齢者の生涯学習の事例(1) 【計画内容】 高齢者の生涯学習の事例として、エルダーホステルの取組について、その意義と課題を知る。 【準備学習の内容】 第6回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A	
	第8回	【テーマ】 豊かな老いを実現する高齢者の生涯学習の事例(2) 【計画内容】 我が国における高齢者の生涯学習の事例として、「生涯現役」を目標とした取組として、①徳島県上勝町、②愛知県足助町など全国の事例についてその実態と意義を理解する。 【準備学習の内容】 第7回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A	
	第9回	【テーマ】 豊かな老いを実現する高齢者の生涯学習の事例(3) 【計画内容】 道内における高齢者の生涯学習の事例として、①穂別町(現鶴川町穂別)、②北海道開拓の村ボランティアを取り上げ、その実態と意義を理解する。 【準備学習の内容】 第8回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A	
	第10回	【テーマ】 死の準備教育(「生と死の教育」) 【計画内容】 アルフォンス・デーケン、柏木哲夫らの「生と死の教育」がどのようにすすめられたかを知り、死を学ぶ方法、必要とされる内容などについて理解し、その意義を考える。 【準備学習の内容】 第9回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A	
	第11回	【テーマ】 現代の死をめぐって(1)自殺、安楽死、臓器移植 【計画内容】 第10回目で取り上げた「死の準備教育」の重要な内容であった、自殺や安楽死など現代の死をめぐる問題について、その現状と課題を理解する。 【準備学習の内容】 第10回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A	
	第12回	【テーマ】 現代の死をめぐって(2)葬送 【計画内容】 お葬式、埋葬などの問題の現状と課題を理解する。 【準備学習の内容】 第11回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A、H	
	第13回	【テーマ】 生と死をいかに学ぶか(1)学校教育の場合 【計画内容】 小中学校や高校では「生と死の教育」はどのように行われてきたか。いくつかの実践事例を紹介し、その意義と課題を理解する。 【準備学習の内容】 第12回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A	
	第14回	【テーマ】 生と死をいかに学ぶか(2)社会教育・生涯学習の場合 【計画内容】 社会教育や生涯学習においては、老いと死は学習の対象としてどのように取り上げられているか。その現状と課題を理解する。 【準備学習の内容】 第13回に配付する資料をよく読んで参加すること。			A	
	第15回	【テーマ】 まとめとふりかえり 【計画内容】 高齢者の学習にとって、老いと死の両者を理解することが、その学習の主体である高齢者と支援する人々にとってどのような意義をもつのかを講義をふりかえって考える。 【準備学習の内容】 配付した講義資料全体を読み直して参加すること。			A、L	
テキスト	資料を適宜配付します					
参考書	堀薫夫、1999年、「教育老年学の構想」、学文社、4762009075 堀薫夫編、2012年、「教育老年学と高齢者学習」、学文社、9784762022814 アルフォンス・デーケン、2001年、「生と死の教育」、岩波書店、4000264516					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足	20%	60%	レポート		20% 授業の感想アンケート
質問への対応	各回の終了後とメールで対応します。問い合わせの方法については講義時に示します。					
資格						
その他						

生涯学習学専攻2年次科

科目名	生涯スポーツ特別演習(運動指導)				授業形態	演習	単位数	2	
教員名	浅尾 秀樹								
授業の目的	ねらい	「生涯スポーツ特論」でまとめた生涯スポーツ・生涯健康の現状と課題をもとに、乳幼児・児童・生徒期、青年期、中年期、高齢期の運動プログラムを作成します。そのうえで各期に応じた実際の運動指導の計画・実施・評価をもとに検証します。さらに、運動やトレーニングの効果を客観的に考察する上での測定方法やデータの分析などの実際について学びます。							
	到達目標	(1)生涯スポーツ・生涯健康のための運動プログラムを作成する。 (2)対象者に合わせた効果的な指導を実践する。 (3)運動指導の効果について評価できる。							
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の内容を理解し、学習計画を立てる。 【準備学習の内容】シラバスの精読。					A		
	第2回	【テーマ】生涯スポーツと運動指導の役割 【計画内容】生涯スポーツ・生涯健康の現状と課題を学ぶ。 【準備学習の内容】生涯スポーツ・生涯健康の現状と課題について調べておく。					A、G		
	第3回	【テーマ】生涯健康と健康運動指導1 【計画内容】発育・発達の視点から考える。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第4回	【テーマ】生涯健康と健康運動指導2 【計画内容】体力とトレーニングの視点から考える。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第5回	【テーマ】生涯健康と健康運動指導3 【計画内容】スポーツ文化の視点から考える。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第6回	【テーマ】健康運動のプログラムと実際1 【計画内容】幼児・児童・生徒期の運動指導。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第7回	【テーマ】健康運動のプログラムと実際2 【計画内容】青年期の運動指導。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第8回	【テーマ】健康運動のプログラムと実際3 【計画内容】中年期の運動指導。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第9回	【テーマ】健康運動のプログラムと実際4 【計画内容】高齢期の運動指導。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第10回	【テーマ】健康関連体力とその測定評価1 【計画内容】健康関連体力と測定法1。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第11回	【テーマ】健康関連体力とその測定評価2 【計画内容】健康関連体力と測定法2。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第12回	【テーマ】健康関連体力とその測定評価3 【計画内容】測定結果の分析・評価1。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第13回	【テーマ】健康関連体力とその測定評価4 【計画内容】測定結果の分析・評価2。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第14回	【テーマ】健康関連体力とその測定評価5 【計画内容】測定結果の分析・評価3。 【準備学習の内容】事前に渡す資料をもとに、関連資料を収集しておく。					A、G		
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】学習のまとめとレポートの作成をする。 【準備学習の内容】これまでの整理をしておく。					A、G、L		
テキスト	プリントを使用します								
参考書	講義の中で説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			80%		20%			
補足									
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資格									
その他	提出課題についての討論の時間を確保し理解を深めます。								

科目名	生涯学習活動特別演習(絵画)			授業形態	演習	単位数	2
教員名	林 亨						
授業の目的	ねらい	本演習では、主に自ら設定したテーマを基に油彩画などによる絵画制作研究を行う。絵画表現の基本要素である「色彩」「形体」「構成」「主題」などを自己の課題に沿って整理しながら、構想力を高め、美的感覚と表現技法を深化させることを目的とする。さらに様々な絵画的造形要素の今日的有り様を追究しながら、個性的な作品制作表現の可能性を研究する。また、生涯学習活動として、絵画を作成したい人に、絵画の魅力や描く喜びを知ってもらう方法を研究する。					
	到達目標	(1)絵画表現の基本的要素について理解し、自己の表現に活用する。 (2)個性的で新しさを志向した表現を追求する。 (3)生涯学習社会における絵画制作指導の能力を獲得する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 演習の内容や展開方法、留意事項等を説明する(使用材料・用具、テーマ設定方法等)。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読み、授業の内容を把握しておくこと。					A、B
	第2回	【テーマ】 課題設定 【計画内容】 制作テーマ、制作計画、描画材料、作品の大きさ等を踏まえた制作計画をつくる。 【準備学習の内容】 指定したテキストを読み、内容を把握しておくこと。					A、B
	第3回	【テーマ】 制作準備 【計画内容】 実際の材料・用具の整理と支持体制作の開始。および制作テーマの絞り込みとコンセプト決定。 【準備学習の内容】 指定したテキストを読み、内容を把握しておくこと。					B
	第4回	【テーマ】 構想画制作1-1 【計画内容】 エスキースの制作と構図決定。エスキースの重要性の認識と構図の重要性について学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B
	第5回	【テーマ】 構想画制作1-2 【計画内容】 彩色開始。テーマや構図を活かした彩色計画を立て、それに沿った彩色を進める。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					B
	第6回	【テーマ】 構想画制作1-3 【計画内容】 彩色描きこみ。描画材の特性を活かす制作法を学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					B
	第7回	【テーマ】 構想画制作1-4 【計画内容】 彩色描きこみ。質感の表現の工夫(マチエル、タッチ、様々な用具の工夫等)。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					B
	第8回	【テーマ】 構想画制作1-5 【計画内容】 制作の終了時期と仕上げについて学ぶ。ニス仕上げや保存法についても学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を仕上げしておくこと。					B
	第9回	【テーマ】 様々な技法について1 【計画内容】 油彩古典技法や日本画、アクリル画などについて学ぶ。キャンバス制作や様々な地塗り法も学ぶ。 【準備学習の内容】 様々絵画技法について理解を深め、確実に習得しておくこと。					A、B
	第10回	【テーマ】 様々な技法について2 【計画内容】 印象派から始まるとされるモダニズム絵画の様々な造形思考に基づいた制作法について学ぶ。 【準備学習の内容】 様々絵画技法について理解を深め、確実に習得しておくこと。					B
	第11回	【テーマ】 構想画制作2-1 【計画内容】 制作1を踏まえ、自己の制作テーマに則った技法と造形思考の融合を目指し、新たな表現方法を模索する。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					B
	第12回	【テーマ】 構想画制作2-2 【計画内容】 制作1を踏まえ、自己の制作テーマに則った技法と造形思考の融合を目指し、新たな表現方法を模索する。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					B
	第13回	【テーマ】 構想画制作2-3 【計画内容】 制作1を踏まえ、自己の制作テーマに則った技法と造形思考の融合を目指し、新たな表現方法を模索する。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					B
	第14回	【テーマ】 構想画制作2-4 【計画内容】 制作1を踏まえ、自己の制作テーマに則った技法と造形思考の融合を目指し、新たな表現方法を模索する。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					B
	第15回	【テーマ】 構想画制作2-5 【計画内容】 作品合評会を実施。作品を介したコミュニケーション力を高めるため、ディスカッション形式で進める。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を仕上げしておくこと。					B、G
テキスト	適宜自作プリントなどを使用します						
参考書	谷川渥(監修)、2001年、『絵画の教科書』、日本文教出版 M.デルナー・佐藤一郎、1980年、『絵画技術体系』、美術出版社						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%	60%	20%	
補足							
質問への対応	Eメールアドレスやオフィシアワーの時間など、問い合わせ先と方法については講義時に示します。						
資格							
その他							



科目名	生涯学習活動特別演習(彫刻)				授業形態	演習	単位数	2
教員名	永野 光一							
授業の目的	ねらい	彫刻は立体の芸術であり、視点を移動させながら眼で触れることのできる表現であることから「触覚の芸術」ともいわれている。彫刻で主に使用される素材は石、木、土、鉄など長い年月をかけて自然が生成したものである。幼い頃に粘土で象や猫などの動物や人をつくった記憶があるひとは多いであろう。その大半の人々は作る喜びや素材に触れる感触を感じていたのではないかと思う。本科目は生涯学習活動として彫刻を制作したい人に、彫刻の魅力やつくる喜びを知ってもらう方法を研究することがねらいである。						
	到達目標	(1)広い視野で彫刻の世界を学習することができる。 (2)生涯学習において彫刻活動の可能性を探り研究することができる。 (3)生涯学習社会における彫刻活動支援において指導できる能力を獲得する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業内容について具体的に説明をします。課題について説明をします。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておいてください。					A	
	第2回	【テーマ】 作品鑑賞 【計画内容】 資料等により作品を鑑賞します。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					A	
	第3回	【テーマ】 彫刻の素材研究(1) 【計画内容】 彫刻の素材の石、粘土、金属、FRPなど多くの種類について学びます。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					A	
	第4回	【テーマ】 彫刻の素材研究(2) 【計画内容】 彫刻の素材についての特性について学びます。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					A	
	第5回	【テーマ】 造形表現の考察(1) 【計画内容】 立体物の造形表現について考察し研究します。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					J	
	第6回	【テーマ】 造形表現の考察(2) 【計画内容】 立体の構築性や実在感について学びます。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					J	
	第7回	【テーマ】 設定した課題の彫刻制作(1) 【計画内容】 アイデアとドローイングから課題を設定し彫刻制作の工程を作成します。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					B	
	第8回	【テーマ】 設定した課題の彫刻制作(2) 【計画内容】 彫刻制作で使用する素材について研究します。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					B	
	第9回	【テーマ】 設定した課題の彫刻制作(3) 【計画内容】 素材を生かした様々な表現方法について学びます。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					B	
	第10回	【テーマ】 設定した課題の彫刻制作(4) 【計画内容】 正の空間、負の空間の関係について学びます。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					B	
	第11回	【テーマ】 設定した課題の彫刻制作(5) 【計画内容】 彫刻制作における道具の使用方法について学びます。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					B	
	第12回	【テーマ】 設定した課題の彫刻制作(6) 【計画内容】 完成密度の高い制作方法について学びます。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					B	
	第13回	【テーマ】 生涯学習の彫刻活動(1) 【計画内容】 生涯学習の彫刻活動について学習し、社会との関係について考察します。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					J	
	第14回	【テーマ】 生涯学習の彫刻活動(2) 【計画内容】 彫刻がいかに生涯学習社会において有効かを学習し、その可能性について研究します。 【準備学習の内容】 配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。					J	
	第15回	【テーマ】 まとめ・講評 【計画内容】 授業のまとめ及び課題、作品について講評します。 【準備学習の内容】 授業で学習した知識・技術を再確認してください。					A	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			20%	30%	50%		
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明をします。							
資格								
その他	制作に適した服装で受講してください。							

科目名	生涯学習活動特別演習(自然科学)				授業形態	演習	単位数	2
教員名	横山 光							
授業の目的	ねらい	生涯学習活動の中でも自然科学を対象とした活動について、理論だけでなく実践も通して活動の目的や意義を考えます。行政機関等で行われる青少年や家族向けに行われる講座について関係施設等の訪問も含め学びます。また、実際に講座を企画立案し実施することにより、学習者の視点で支援できる力を養います。						
	到達目標	(1)自然科学を対象とした生涯学習活動の事例を説明することができる。 (2)自然科学を対象とした学習講座を企画立案することができる。 (3)自然科学を対象とした学習講座に必要な環境を整えることができる。 (4)自然科学を対象とした学習講座を実施することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の進め方について説明します。また、受講者の体験事例を発表します。 【準備学習の内容】これまでに経験した自然科学を対象とする生涯学習について発表する準備をして下さい。					F	
	第2回	【テーマ】生涯学習の理念と理論 【計画内容】生涯学習の理念や理論、内容・方法について学びます。 【準備学習の内容】前授業終了時に示す課題について取り組むこと。					J	
	第3回	【テーマ】学校教育と生涯学習 【計画内容】生涯学習からみた学校教育の位置付けや義務教育で行われる自然科学を対象とした学習について学びます。 【準備学習の内容】前授業終了時に示す課題について取り組むこと。					J	
	第4回	【テーマ】自然科学を対象とした学習講座(1) 【計画内容】科学館等で行われる学習講座を中心にその内容を学びます。 【準備学習の内容】前授業終了時に示す課題について取り組むこと。					J	
	第5回	【テーマ】自然科学を対象とした学習講座(2) 【計画内容】科学館等で行われる学習講座を中心にその内容を学びます。 【準備学習の内容】前授業終了時に示す課題について取り組むこと。					J	
	第6回	【テーマ】自然科学を対象とした学習講座(3) 【計画内容】科学館等で行われる学習講座を中心にその内容を学びます。 【準備学習の内容】前授業終了時に示す課題について取り組むこと。					J	
	第7回	【テーマ】自然科学を対象とした学習講座(4) 【計画内容】科学館等で行われる学習講座を中心にその内容を学びます。 【準備学習の内容】前授業終了時に示す課題について取り組むこと。					J	
	第8回	【テーマ】自然科学を対象とした学習講座(5) 【計画内容】科学館等で行われる学習講座を中心にその内容を学びます。 【準備学習の内容】前授業終了時に示す課題について取り組むこと。					J	
	第9回	【テーマ】自然科学を対象とした学習講座(6) 【計画内容】科学館等で行われる学習講座を中心にその内容を学びます。 【準備学習の内容】前授業終了時に示す課題について取り組むこと。					J	
	第10回	【テーマ】学習講座の企画・立案(1) 【計画内容】これまでの学習を踏まえ、自然科学を対象とした学習講座を企画・立案します。 【準備学習の内容】これまでの学習を踏まえ、学習講座を提案する準備をして下さい。					H	
	第11回	【テーマ】学習講座の企画・立案(2) 【計画内容】これまでの学習を踏まえ、自然科学を対象とした学習講座を企画・立案します。 【準備学習の内容】これまでの学習を踏まえ、学習講座を提案する準備をして下さい。					H	
	第12回	【テーマ】学習講座の企画・立案(3) 【計画内容】これまでの学習を踏まえ、自然科学を対象とした学習講座を企画・立案します。 【準備学習の内容】これまでの学習を踏まえ、学習講座を提案する準備をして下さい。					H	
	第13回	【テーマ】学習講座の企画・立案(4) 【計画内容】これまでの学習を踏まえ、自然科学を対象とした学習講座を企画・立案します。 【準備学習の内容】これまでの学習を踏まえ、学習講座を提案する準備をして下さい。					H	
	第14回	【テーマ】学習講座の企画・立案(5) 【計画内容】これまでの学習を踏まえ、自然科学を対象とした学習講座を企画・立案します。 【準備学習の内容】これまでの学習を踏まえ、学習講座を提案する準備をして下さい。					H	
	第15回	【テーマ】学習講座の実施とまとめ 【計画内容】実際に学習講座を実施します。 【準備学習の内容】学習講座の準備をすること。					B	
テキスト	講義時に説明します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		30%	30%	
	補足			企画内容		積極性	企画実践	
質問への対応	講義時以外は、遠慮なく研究室に来て下さい。							
資格								
その他	第4回以降については、関係機関の訪問等を含め状況に応じて一部集中的に講義や演習を行います。							



科目名	継続学習活動特別演習			授業形態	演習	単位数	2
教員名	佐々木 邦子						
授業の目的	ねらい	継続学習の対象として成人を題材とする。日本における社会教育や生涯学習の歴史的展開を確認したうえで、諸外国の状況と比較研究を行う。外国については、特に、成人学習における先進国として名高いスウェーデン、フランス、ドイツの事例を研究する。					
	到達目標	(1)成人の学習が労働と強い紐帯を持っていることを理解する。 (2)ILOの有給教育休暇を批准したかどうかによってどのような違いがあるか理解する。 (3)日本のみではなく、諸外国の継続学習の状況を理解する。 (4)成人教育が中等教育と深いかわりを持っていることを理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 文献の決定と第4回以降の発表分担の決定 【計画内容】 講義の進め方について説明をする。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 日本における成人教育の歴史的展開 【計画内容】 社会教育の中で、成人がどのような位置づけであったか確認をする。 【準備学習の内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。				A	
	第3回	【テーマ】 日本における成人学習について 【計画内容】 生涯学習の理念が導入後、我が国で成人学習が教育政策として根付いた経緯を確認する。 【準備学習の内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。				A	
	第4回	【テーマ】 OECD、ユネスコの生涯学習 【計画内容】 OECD、ユネスコの生涯学習を確認する。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				A	
	第5回	【テーマ】 ILOの有給教育休暇について 【計画内容】 有給教育休暇が成人の生涯学習に果たす役割を学習する。成人の継続学習が進んだ国では、この制度が根付いていることを確認する。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				A	
	第6回	【テーマ】 スウェーデンの教育制度① 学生の発表 【計画内容】 補足説明をした後、意見交換をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				F	
	第7回	【テーマ】 スウェーデンの教育制度② 学生の発表 【計画内容】 スウェーデンが実施した、教育政策としての2:54制度が他国に例を見なかったことなど、特徴的な点を挙げる。 【準備学習の内容】 これまで使用したレジュメなどを準備しておく。				F	
	第8回	【テーマ】 論点整理 【計画内容】 スウェーデンの継続教育について討論をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				B、I	
	第9回	【テーマ】 ドイツの継続学習① 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、ドイツの継続学習の基礎となる教育制度を学習する。特に、中等教育に特徴を有している点に着目する。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				F	
	第10回	【テーマ】 ドイツの継続学習② 学生の発表 【計画内容】 ドイツでは成人教育、継続教育が1970年代初頭から法制度化された。そのあたりについて、学生の発表により、学習をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				F	
	第11回	【テーマ】 論点整理 【計画内容】 ドイツの教育制度と成人教育について、これまでの学習を踏まえ討論をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				B、I	
	第12回	【テーマ】 フランスの継続学習① 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、フランスの教育制度・継続学習の状況を理解する。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				F	
	第13回	【テーマ】 フランスの継続学習② 学生の発表 【計画内容】 フランスは、ドイツを同様にILOの有給教育休暇を早くに導入した国であり、成人の学習にも力を入れている。それらについて、学生の発表により、学習をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				F	
	第14回	【テーマ】 論点整理 【計画内容】 フランスの教育制度・継続学習について討論をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。				I	
	第15回	【テーマ】 イギリス、フィンランド等の成人教育 【計画内容】 上記の国以外でも、例えば、イギリスやフィンランドなど、成人教育に力を入れている国があることを理解する。 【準備学習の内容】 これまで使用したレジュメなどを準備しておく。				I	
テキスト	プリントを使用します。						
参考書	新海英行、2016年、『世界の生涯学習』、大学教育出版 姉崎洋一、2008年、『高等継続教育の現代的展開』、北海道大学出版会 黒沢惟昭、2000年、『苦悩する先進国の生涯学習』、社会評論社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
補足							
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格	[生]中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必						
その他	生涯学習学の発展的な状況として学習をしていただきたい。						

科目名	生涯学習特別研究Ⅱ		授業形態	演習	単位数	4	
教員名	担当教員						
授業の目的	ねらい	学習者の視点に立ち、学習者が自ら問題を発見し、自ら問題解決に取り組む学習活動を支援する理論や支援の手立てを専門的に研究することが講義のねらいである。2年次までに学習したことに基づいて、専門性を深めるために、教員と学生の協力によってゼミナールを運営する。					
	到達目標	(1)4年次に取り組む卒業研究に関連する分野の知識を習得する。 (2)研究テーマを自ら設定し、研究を主体的に進める力を習得する。					
授業の計画	【計画内容】  第1～15回 各ゼミナールによって異なった展開となります。 詳細については、各指導教員から配付される授業計画書を参考にしてください。  【準備学習の内容】 各指導教員から説明があります。						B
テキスト	各指導教員より説明します						
参考書	各指導教員より説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			10%		20%	70%
	補足			レポート等		平時	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」は同一教員を原則とします。 受講態度・課題・提出物などから担当教員が定めた比率に基づいて評価します。						

科目名	教育経営特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	佐々木 邦子						
授業の目的	ねらい	現在、日本の学校教育は、学力体力低下、いじめ、不登校(引きこもり)、虐待等、多くの課題問題を抱えている。明治期に始まった学校教育制度が戦後の学制改革で新しく変わったものの、長い年月の間にさらに変化がみられ、新しい学校制度も1998年と2016年に始まっているのである。その起こりの発端には冒頭で掲げた教育課題が根深いこととは言を俟たない。 教育は、時の社会の影響を受けるものであるが、健全な児童生徒の育成を熟考し改善させながらも制度が動いていることも理解しなければならない。教育における不易と流行を認識して、児童生徒の最善を考えるのが教育経営の一つの役割である。					
	到達目標	(1)日本と諸外国の学校教育制度の違いを見る。 (2)社会の移り変わりが教育に与える影響を見る。 (3)学校管理下での安全をいかに保持するか考える。 (4)開かれた学校として、学校と地域社会のつながりを見る。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義ガイダンス。使用文献の選定。 【計画内容】 15回の学習内容を概観する。 【準備学習の内容】 各自の教育課題についての考えを聞く。				A	
	第2回	【テーマ】 日本における学校教育制度の沿革。 【計画内容】 明治期に学校制度が必要となった背景と今日の学校制度への連続性・関係性。 【準備学習の内容】 明治期からの学校系統図を見ておく。				I	
	第3回	【テーマ】 戦後の学制改革 【計画内容】 明治期から戦後に至るまでの教育勅語の役割と今日の学校制度への連続性・関係性。 【準備学習の内容】 日本国憲法の教育に関する条項を確認しておく。				I	
	第4回	【テーマ】 教育基本法、学校教育法の新旧 【計画内容】 教育基本法や学校教育法が近年改正されている背景をみる。 【準備学習の内容】 教育基本法を読んで自身の考え方をまとめておくこと」を指示。				I	
	第5回	【テーマ】 新しい学校制度 【計画内容】 中等教育学校、義務教育学校発足の背景にある教育問題を探る。 【準備学習の内容】 新しい学校制度のねらいを考えておく。				I	
	第6回	【テーマ】 高度経済成長期前後の教育事情 【計画内容】 社会の劇変と教育の関わりを見る。 【準備学習の内容】 人口の増加が教育にどのような影響を及ぼしたのかを考える。				I	
	第7回	【テーマ】 学校規模、学級規模が児童生徒の育成に及ぼす影響 【計画内容】 児童生徒の育成に規模による違いはあるのか。 【準備学習の内容】 小規模校、小規模クラスの実態について調べておく。				I	
	第8回	【テーマ】 学級崩壊・いじめ・不登校等の定義と実際 【計画内容】 学級崩壊、いじめ、不登校等の具体事例から、対応策を考えていく。 【準備学習の内容】 文部科学省が出している統計を確認しておく。				I	
	第9回	【テーマ】 いじめや不登校への対応として制定された法制度 【計画内容】 いじめ防止対策推進法、自治体の条例などを確認する。 【準備学習の内容】 条文を読み、制定の目的を知る。				I	
	第10回	【テーマ】 教育相談の意義を考察 【計画内容】 教員が児童生徒の課題や問題行動にどのように対応すべきか。 【準備学習の内容】 教員によるカウンセリングマインドとは何か考える。				I	
	第11回	【テーマ】 学校管理下のリスクマネジメント 【計画内容】 学校管理下で児童生徒の安全安全をいかに守るか。 【準備学習の内容】 事例を基に検証する。				I	
	第12回	【テーマ】 通常学校と特別支援学校の児童生徒 【計画内容】 通常学校と特別支援学級や特別支援学校での安全対策にどのような違いがあるか。 【準備学習の内容】 学校と地域社会や家庭との連携があってこそ児童生徒の安全が確保されることを確認。				I	
	第13回	【テーマ】 夜間中学校の社会的意義 【計画内容】 夜間中学のおこりが、社会の動静に強い影響を受けたことを確認するとともに、現代の実態として児童生徒の不登校とどのようにかわるのかを探る。 【準備学習の内容】 義務教育確保法制定の背景を知る。				A、I	
	第14回	【テーマ】 「開かれた学校」の実践活動としてのコミュニティ・スクール 【計画内容】 日本でコミュニティ・スクールが発足した背景に、教育課題があったことを確認する。 【準備学習の内容】 日本全体と北海道の状況について、相違点を見る。				A、I	
	第15回	【テーマ】 日本に暮らす外国人の児童生徒の教育 【計画内容】 児童生徒に異文化理解をどのように育成するか。 【準備学習の内容】 これまでの学習プリントや発表内容から、教育の不易と流行を認識する。				A、I	
テキスト	主にプリントを使用します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		20%	50%
	補足						口頭発表
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必						
その他							

科目名	教育方法特論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	浅尾 秀樹							
授業の目的	ねらい	この講義では、学びを成立させる要件について考察する。そのために、学習内容と学習活動の様式、媒体となる教材等、さらに学習効果の評価法について検討する。						
	到達目標	(1)学び、授業作りについて考察する。 (2)授業分析の方法について考察する。 (3)教育評価の方法について考察する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義における学習課題の認識と学習の進め方について。 【準備学習の内容】自分が受けてきた教育について、学習者の立場から考察しておく。					A	
	第2回	【テーマ】個別課題の設定 【計画内容】教育方法についての問題点と検証の方法について、個別課題として設定する。 【準備学習の内容】検証の方法を検討しておく。					A、F	
	第3回	【テーマ】学習指導・学習形態について 【計画内容】学習成立の前提と学習活動・支援について考える。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、F	
	第4回	【テーマ】授業分析法について 【計画内容】定量分析と質的分析について考える。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、B	
	第5回	【テーマ】教育評価について 【計画内容】「何を」「どう」評価するのかを考える。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、B	
	第6回	【テーマ】教育評価の実際 1 【計画内容】相対評価と絶対評価。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、B	
	第7回	【テーマ】教育評価の実際 2 【計画内容】到達度評価を考える。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、B	
	第8回	【テーマ】教育評価の実際 3 【計画内容】ポートフォリオ評価。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、B	
	第9回	【テーマ】文献研究 1 【計画内容】教授学、学習指導の視点から。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、B、F	
	第10回	【テーマ】文献研究 2 【計画内容】発達の見点から。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、B、F	
	第11回	【テーマ】文献研究 3 【計画内容】学力の見点から。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、B、F	
	第12回	【テーマ】文献研究 4 【計画内容】教科の見点から。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、B、F	
	第13回	【テーマ】個別課題の検討 【計画内容】問題点・課題の抽出。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、F	
	第14回	【テーマ】個別課題の発表 【計画内容】研究方法・結果の発表。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、F	
	第15回	【テーマ】学習のまとめ 【計画内容】学習全体の振り返りと今後の課題についてまとめる。 【準備学習の内容】テーマについての既習事項をまとめておく。					A、F	
テキスト	プリントを使用する							
参考書	講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			80%		20%		
質問への対応	講義内に時間を設定します。							
資格	[生]幼専・小専_選必、中専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽)_選必、高専(保健体育、保健、家庭、美術、音楽、工芸、情報)_選必							
その他	提出課題についての討論の時間を確保し理解を深めます。							



科目名	教職研究特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	諏江 康夫						
授業の目的	ねらい	日本教師教育学会等の研究成果を紹介しながら、日本及び諸外国の教師教育の改革動向を概観し、また、特定のテーマについて詳しく取り上げ、考察の方法を検討し、相互のレポート発表をもとに討議を深める。					
	到達目標	(1)教師や教師教育についての最近の研究動向や研究方法を理解する。 (2)日本の教師教育制度の改革動向の特徴や概要を理解する。 (3)戦後日本の教師教育への批判や期待、推移を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】教師と教師教育をめぐる今日の問題状況について学ぶ。 【準備学習の内容】「教職」に関する今までの学習を振り返るとともに、テキスト序章を予習すること。	A、H				
	第2回	【テーマ】教師教育の危機と改革の原理的検討 【計画内容】教師教育の危機の複合性や歴史的経過について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第1章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第3回	【テーマ】改正教育基本法下の教員政策と教師教育 【計画内容】改正教育基本法の問題点、教員関係規定の構造について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第2章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第4回	【テーマ】「教育改革」「教育再生」と教員人事制度の行方 【計画内容】教員人事権の所在、地方分権と自治体の裁量拡大について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第3章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第5回	【テーマ】教員給与のあり方の問題と課題 【計画内容】義務教育費国庫負担制度、人材確保法との関係、教員給与の重要性について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第4章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第6回	【テーマ】開放性教員養成システムについて考える 【計画内容】多義的な開放制概念、「足腰」の強い教師の養成について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第5章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第7回	【テーマ】教職課程の認定と評価をめぐる最近の政策 【計画内容】教職課程認定制度の成立、課程認定から総合的評価体制の構築を学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第6章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第8回	【テーマ】教員養成カリキュラム改革の課題 【計画内容】取得免許の専門性保障と課題について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第7章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第9回	【テーマ】教師教育改革と教員養成の専門家集団としての大学へ 【計画内容】大学(教員養成の担い手)が置かれる社会的な位置の変化、大学相互連携について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第8章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第10回	【テーマ】東京都教師養成塾と「大学における教員養成」 【計画内容】養成塾の実施状況と問題点、教員の指導力を高めるための手立てを考える。 【準備学習の内容】テキスト第9章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第11回	【テーマ】教員養成・資格の原理的検討 【計画内容】教職観と免許制度、教師教育における専門的基準の作成について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第10章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第12回	【テーマ】近年の教員研修政策の動向と課題 【計画内容】教員研修をめぐる新たな動きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第11章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第13回	【テーマ】免許更新制と現職研修改革 【計画内容】免許更新制の具体像と有効性などを学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第12章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第14回	【テーマ】「教職大学院」創設の背景と課題 【計画内容】政策課題としての「専門職大学院」プランの具体化と、現状・課題について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第13章を熟読しておくこと。	A、F、L				
	第15回	【テーマ】「教員改革」の可能性と課題 【計画内容】教育行政改革と教育実践改革などについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの終章を熟読するとともに、教師教育の課題などについて省察しておくこと。	A、G、L				
テキスト	日本教師教育学会、2008年、『日本の教師教育改革』、学事出版						
参考書	プリントを使用する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
補足				レポート		討議の発言等	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[生]幼専・小専_選必						
その他	相互のレポートに関する討議や意見交流を中心に進めますので、責任ある積極的な発言を望みます。						



科目名	教育課程研究特論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	舟橋 安幸						
授業の目的	ねらい	教育課程は、国立・公立・私立を問わず、わが国の学校教育を実施する幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の機関において、その実施内容を統括するものです。教職志望者にあつては、教育課程についての明確な認識が不可欠の教養となります。この講義では、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の新学習指導要領の内容について理解するとともに、幼稚園教育要領や保育所保育指針についての理解も深めていきます。更に実際の学校において作成された教育課程について研究・考察をしていきます。レジュメによる発表や意見交換を中心に講義を進めていく予定です。					
	到達目標	(1)教育課程の意義や編成の変遷について理解が深まる。 (2)各学校種の新学習指導要領について理解が深まる。 (3)実際の学校現場で作成された教育課程について考察することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容・展開についての説明を行います。また研究考察の課題を提示しますので、研究計画を立案してもらいます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟知しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】教育課程編成の制度及び法令 【計画内容】教育基本法や学校教育法について理解を深め、それに基づいて教育目標及び教育課程の編成を進めていくことを学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A	
	第3回	【テーマ】学習指導要領の変遷 【計画内容】過去8回告示された学習指導要領の特徴について理解するとともに、新学習指導要領の特徴についても学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第4回	【テーマ】新学習指導要領の理解(1):小学校総則 【計画内容】小学校における教育課程の基準や教育課程編成の方針を理解するとともに、指導計画の作成や評価についても学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第5回	【テーマ】新学習指導要領の理解(2):中学校総則 【計画内容】中学校における教育課程の基準や教育課程編成の方針を理解するとともに、指導計画の作成や評価についても学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第6回	【テーマ】新学習指導要領の理解(3):高等学校総則 【計画内容】高等学校における教育課程の基準や編成の方針を理解するとともに、指導計画の作成や評価についても学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第7回	【テーマ】新学習指導要領の理解(4):特別支援学校総則 【計画内容】特別支援学校における教育課程の基準や編成の方針を理解し、指導計画の作成や評価についても学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第8回	【テーマ】新学習指導要領の理解(5):各学校教科 【計画内容】各学校種の教科の目標や内容を理解するとともに、各学年の目標や内容及び指導計画の作成を学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第9回	【テーマ】新学習指導要領の理解(6):各学校道徳 【計画内容】各学校種の道徳の目標や内容を理解するとともに、各学年の目標や内容及び指導計画の作成を学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第10回	【テーマ】新学習指導要領の理解(7):各学校特別活動 【計画内容】各学校種の特別活動の目標や内容を理解するとともに、各学年の目標や内容及び指導計画の作成を学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第11回	【テーマ】新学習指導要領の理解(8):各学校総合的な学習の時間 【計画内容】各学校種の総合の目標や内容を理解するとともに、各学年の目標や内容及び指導計画の作成を学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第12回	【テーマ】学習指導要領の理解(9):特別支援学校自立活動 【計画内容】特別支援学校における自立活動の目標や内容を理解し、各学年の目標や内容及び指導計画の作成を学びます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第13回	【テーマ】新幼稚園教育要領の理解 【計画内容】小学校学習指導要領と同時期に改定になった幼稚園教育要領から幼稚園教育のねらいを学んでいきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第14回	【テーマ】新保育所保育指針の理解 【計画内容】小学校学習指導要領と同時期に改定になった保育所保育指針から保育所における養護と教育のねらいを学んでいきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F	
	第15回	【テーマ】講義のまとめ 【計画内容】計画に基づき研究してきた内容をレポートで発表し、意見交換をしながら考察を深めていきます。 【準備学習の内容】今までの学習を振り返り、レポートにまとめておくこと。				F、G、L	
テキスト	講義時に説明するプリントを使用する						
参考書	文部科学省、2009年、『高等学校学習指導要領解説 総則編』、東山書房、9784827814804 文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、4577814226 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、4577814234						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		30%	20%
	補足			レジュメ			毎回のコメントシート
質問への対応	初回講義時に具体的に提示します。						
資格	[生]幼専・小専_選必						
その他							

科目名	キャリアガイダンス特論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木 邦子						
授業の目的	ねらい	若年者のキャリア形成は、教育との関わりがきわめて深い。近年失業率において、若年者が他の年代を上回っていることや非正規雇用に占める若年者の割合の高さが社会問題の様相を呈している。その大きな要因となっているのは、若者自身の問題なのか、あるいは社会が悪いのか、大いに議論になってきたことである。さらに、若者の不遇は、我が国だけではなく諸外国にも共通することである。このような状況について、日本および諸外国の問題の根底に何があのか、そしてその改善策を検討するものこの科目の目的である。					
	到達目標	(1)若年者のキャリアに対する問題を把握する。 (2)日本と諸外国の状況を把握する。 (3)若者の就業が困難なことの要因を把握し、改善策を考える。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義の進め方を説明し、文献を提示し、4週日以降の発表分担を決定する。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】 若年者のキャリア形成における現状解説 【計画内容】 我が国の若者労働市場の状況をデータで見て問題の所在を確認する。 【準備学習の内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A
	第3回	【テーマ】 諸外国における若年者のキャリア形成についての現状解説 【計画内容】 特に、EU域内で若者のキャリアに対してどのような対応をしたのか学習をする。 【準備学習の内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A
	第4回	【テーマ】 初期職業キャリアについて 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、若者の初期職業キャリアをテーマに討論をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					F、I
	第5回	【テーマ】 学卒労働市場の縮小とフリーターの増加 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、新卒者の就職と労働市場の状況を学習する。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					F、I
	第6回	【テーマ】 働いていない若者の実態 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、働いていない若者の実態をフリーター数の経年推移やニート状況から学習する。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					F、I
	第7回	【テーマ】 論点整理 【計画内容】 ここまでの学生の発表により、論点について討論をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					F、I
	第8回	【テーマ】 キャリアの変化が若者に与える課題 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、キャリアの変化が若者に与える課題を考察する。近年、年長フリーター数が減少しない状況について討論をする。 【準備学習の内容】 レジュメを再度熟読し、専門的なイシューを用意して臨む。					F、I
	第9回	【テーマ】 若者の非正規雇用者数増加による経済的格差の広がり 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、若者の非正規雇用者数増加による経済的格差の広がりについて討論をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					F、I
	第10回	【テーマ】 キャリア形成がなされない若者の職業能力形成の課題 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、キャリア形成がなされない若者の職業能力形成の課題について学習をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					F、I
	第11回	【テーマ】 論点整理 【計画内容】 ここまで学習をした内容を基に、論点を立てて討論をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					I
	第12回	【テーマ】 非正規雇用で働く若者に対する政府や自治体の支援策 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、非正規雇用で働く若者に対する政府や自治体の支援策を知る。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					F、I
	第13回	【テーマ】 中等教育におけるキャリア教育の課題① 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、これまでの学習を踏まえて、中等教育における従来の進路指導とキャリア教育がそのような関わりをしているか検討をする。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					F、I
	第14回	【テーマ】 中等教育におけるキャリア教育の課題② 学生の発表 【計画内容】 学生の発表により、中等教育において今後望まれるキャリア教育の方向性を討論する。 【準備学習の内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。					F、I
	第15回	【テーマ】 全体のまとめとして論点を中心にした討論 【計画内容】 大学院としての見解の高さを求めながら、学生の意見交換を促す。 【準備学習の内容】 これまでのレジュメや論点について復習をしておくこと。					I
テキスト	プリントを使用します						
参考書	西谷塚、2011年、『人権としてディーセントワーク』、旬報社 G. ジョーンズ・C. ウォーレス、2004年、『若者はなぜ大人になれないのか』、新評論						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
補足							
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格	[生]小専_選必						
その他	どの学校種でも、キャリア教育の推進が求められている現状であるため、専修免許を希望する方は意欲的に履修をしていただきたい。						

科目名	保育原理特論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	伏見 千悦子							
授業の目的	ねらい	本特論では、これまでの保育原理などの学びを踏まえて、現代社会における保育実践の諸課題について考察します。具体的には、以下の4つの観点をもとに学びます。						
	到達目標	(1)現代の保育観の特徴について、価値観の多様化と関連させて理解することができる。 (2)「遊び」をキーワードとして、乳幼児期の発達に関して理解を深めることができる。 (3)「個と集団」「一斉と自由」に焦点を当て、子どもの主体性との関連から保育形態と保育方法について考えることができる。 (4)保育と密接に繋がりのある他機関との連携や支援について理解することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義の展開や到達目標、評価方法について説明します。また、環境を通しての保育という考え方の社会的背景や保育学的な意味について考えます。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】 現代の保育観(1) 【計画内容】 教育から学習へ、あるいは指導から支援へという保育(教育)観について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						A、G
	第3回	【テーマ】 現代の保育観(2) 【計画内容】 保育所保育指針や幼稚園教育要領に示されている「領域」という見方や考え方について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						A、F
	第4回	【テーマ】 幼児期の発達(1) 【計画内容】 乳幼児期の発達の特徴と、それを阻害する社会的要素、あるいは乳幼児の発達課題について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						A、G
	第5回	【テーマ】 幼児期の発達(2) 【計画内容】 基礎基本の涵養という視点から、幼児期の発達と「ふさわしい生活の保障」との関連について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						A、F
	第6回	【テーマ】 幼児期の発達(3) 【計画内容】 基礎基本の涵養という視点からとらえた幼児期の発達について学び、意見を交流します。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						H
	第7回	【テーマ】 保育の方法(1) 【計画内容】 自由保育と設定保育(一斉保育)の意義や過大について考察します。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						A、G
	第8回	【テーマ】 保育の方法(2) 【計画内容】 子どもの主体性、あるいは子ども一人一人の興味関心を大切にするなど、個に着目した保育のあり方について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						A、F
	第9回	【テーマ】 保育の方法(3) 【計画内容】 保育の方法の向上に関連して、保育者としての専門性が求められる時代になっています。その社会的背景について考えます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						H
	第10回	【テーマ】 保育と社会的連携(1) 【計画内容】 近年、就学前の保育所や幼稚園と小学校との連携の必要性が指摘されています。その意義について考えます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						A、G
	第11回	【テーマ】 保育と社会的連携(2) 【計画内容】 育児支援が重要視されています。このような支援が求められる諸要因やどのような具体的育児支援が展開されているのかについて学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						A、F
	第12回	【テーマ】 保育と社会的連携(3) 【計画内容】 国際化の進展の中で、文化的背景を異にする様々な子ども達が保育の中にも見られるようになっていきます。多文化の中での保育のあり方についてフィールドワークを通して学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						M
	第13回	【テーマ】 保育と社会的連携(4) 【計画内容】 様々な背景を持つ子どもの保育のあり方についてフィールドワークを通して学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						M
	第14回	【テーマ】 保育の評価 【計画内容】 保育目標と保育理念とが結びついた評価のあり方、情報の保護と情報開示、説明責任など評価の方向性について考えます。 【準備学習の内容】 テキストの指定した章を読んでおくこと。						A、G
	第15回	【テーマ】 全体のまとめと小論文の作成 【計画内容】 現代社会における保育の課題と可能性について、これまでを振り返ってまとめます。その後に、本特論の小論文課題を確認し後日提出します。 【準備学習の内容】 テキストやこれまでの資料に目を通しておくこと。						F
テキスト	子どもと保育総合研究所、森上史朗・大豆生田啓友編、『よくわかる保育原理』、ミネルヴァ書房							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			50%			50%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[生]幼専_選必							
その他	予習課題に当たっては、文献等を参考に必ず自分なりのとらえ方をまとめておくこと。課題は講評し、振り返りを行います。							



科目名	特別支援教育コーディネーター特論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	神田 英治						
授業の目的	ねらい	「21世紀の特殊教育の在り方について」から「特別支援教育の推進について」（文部科学省の通知）の流れを踏まえて、特別支援教育の基本理念を理解します。本講義では、特別支援教育の核となるコーディネーターの役割について学びます。また、北海道の特別支援教育の教育行政、教育課程、各障害種別の校種別の教育実践の特色等を理解し、医療・福祉・労働等の専門機関との連携・協力についても理解を深めます。					
	到達目標	(1)特別支援教育の基本理念を理解する。 (2)特別支援教育コーディネーターの役割について説明できる。 (3)北海道の特別支援教育の教育行政、教育課程、各障害種別の校種別の教育実践の特色を知る。 (4)特別支援学校と医療・福祉・労働等の専門機関との連携・協力等について理解を深める。 (5)教育相談に対応するための知識と専門性を学ぶとともに、カウンセリング技法についても理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 特別支援教育コーディネーターの役割について、15回の授業展開について具体的に説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読していること。				A、F	
	第2回	【テーマ】 特別支援教育の施策・制度① 【計画内容】 全ての学校で行われる特別支援教育の施策・制度等の変遷について学びます。特に障害種別ごとの内容と比較検討をとおして理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F	
	第3回	【テーマ】 特別支援教育の施策・制度② 【計画内容】 共生社会を目指す特別支援教育の施策・制度等の変遷について学びます。特に、北海道と道外の施策・制度の比較と今後の展望などを検討・考察します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F、H	
	第4回	【テーマ】 特別支援教育コーディネーターの役割① 【計画内容】 校内委員会や学級担任等との連絡・調整の在り方について学びます。また、指導的な立場の管理職との調整と役割等についても理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F	
	第5回	【テーマ】 特別支援教育コーディネーターの役割② 【計画内容】 地域でのネットワークの推進と、保護者や外部機関等との連絡・調整の在り方について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F	
	第6回	【テーマ】 特別支援教育コーディネーターの役割③ 【計画内容】 職員や保護者に対して、特別支援教育の情報資料の配付や研修会の企画など、特別支援教育に関する理解・啓発の在り方について学びます。北海道と道外の先進的な取り組みについて理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F	
	第7回	【テーマ】 特別支援教育コーディネーターの役割④ 【計画内容】 地域内の特別支援教育を推進するため、教育、医療、福祉等とのネットワークの形成と推進の在り方について学びます。特に、北海道の地域支援ネットワークについて理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、B、F、J	
	第8回	【テーマ】 特別支援教育コーディネーターの役割⑤ 【計画内容】 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成、実施、評価の在り方について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F、J	
	第9回	【テーマ】 特別支援教育コーディネーターの教育相談① 【計画内容】 地域の保護者、小・中学校等の教員（特に特別支援学級）並びにその学校に在籍する児童生徒の保護者に対するカウンセリングの在り方について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F、J、N	
	第10回	【テーマ】 特別支援教育コーディネーターの教育相談② 【計画内容】 特別支援学校の校種別の教育相談について学びます。特に盲・聾の乳幼児教育相談（聴覚障害乳幼児療育事業等）について理解を深める。特別支援学校の教員並びに保護者に対するカウンセリングの在り方について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F、J、N	
	第11回	【テーマ】 特別支援教育コーディネーターの教育相談③ 【計画内容】 特別支援学校の教員並びに保護者に対するカウンセリングの在り方について学びます。特に、保護者支援（両親援助）、家族支援等について理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F、J、N	
	第12回	【テーマ】 特別支援教育コーディネーターの専門性① 【計画内容】 小・中学校等に在籍するLD、ADHDなどの発達障害について理解、支援の在り方について学びます。特に、小児精神医学の医学的診断と文部科学省の教育的定義について理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F、J、N	
	第13回	【テーマ】 生徒理解① 【計画内容】 多様化、重複化している特別支援教育の対象児童生徒に対する、きめ細かい生徒理解の在り方について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、F、J	
	第14回	【テーマ】 生徒理解② 【計画内容】 特別支援教育の対象の児童生徒の特性を把握する心理検査について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。				A、B、F、J	
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 特別支援教育コーディネーターの役割、専門性等について再確認し、レポートにまとめます。 【準備学習の内容】 これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。				A、F、J	
テキスト	プリントを使用します						
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校学習指導要領』、海文堂出版、9784303124243 香川邦生・大内進、2012年、『特別支援教育コーディネーターの役割と連携の実践』、教育出版、9784316803647 高橋三郎・大野 裕、2014年、『DSM-5精神疾患の分類と診断の手引』、医学書院、9784260019088						
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	30%	50%		20%		
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[生]特支専_必修						
その他							

科目名	特別支援教育コーディネーター実践論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	神田 英治						
授業の目的	ねらい	特別支援教育コーディネーターは、質の高い幅広い専門性を常に求められています。本講義では、特別な支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズを的確に把握するための発達検査、言語発達検査やITPA言語学習能力検査、フロスティック視知覚発達検査、WISC-IV知能検査法、行動分析(応用行動分析)等について学びます。それらの検査の演習をとおして、特に発達障害児への学習指導の支援アプローチを検討・考察します。					
	到達目標	(1)発達検査法を理解し、その検査を実施できる。その結果に基づき、障害乳幼児の早期発見・早期教育への実践的アプローチを学びます。 (2)フロスティック視知覚発達検査法を理解し、その検査を実施できる。その結果に基づき、視知覚系の学習障害(LD)への実践的アプローチを学びます。 (3)言語発達検査やITPA言語学習能力検査法を理解し、その検査を実施できる。その結果に基づき、言語系の学習障害(LD)への実践的アプローチを学びます。 (4)自閉症の行動評定法、行動分析法などを理解し、それらの結果に基づき、自閉症スペクトラム障害への実践的アプローチを学びます。 (5)WISC-IVの知能検査法を理解し、その検査を実施できる。その結果に基づき、発達障害児や知的障害児への認知特性の実践的アプローチを学びます。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 障害特性や行動特性等を把握するための各種心理検査、知能検査法、行動分析法の概要を説明し、15回の授業展開を具体的に説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、F
	第2回	【テーマ】 発達障害についての障害特性や行動等を把握するための各種発達検査法・心理検査法・知能検査法・行動分析法等の概要について 【計画内容】 発達障害についての障害特性や行動等を把握するための各種発達検査法、心理検査法、知能検査法、行動分析法等のテストバッテリーについて学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、F
	第3回	【テーマ】 発達障害の特に学習障害(LD)における言語障害の特性と言語発達検査、ITPA言語学習能力検査法について 【計画内容】 発達障害の特に学習障害(LD)における言語障害の特性を理解するとともに、言語発達検査、ITPA言語学習能力検査法について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、F
	第4回	【テーマ】 発達障害の特に学習障害(LD)における言語障害の特性について、言語発達検査、ITPA言語学習能力検査の実際と評価・分析及び指導について 【計画内容】 言語発達検査、ITPA言語学習能力診断検査について、学生を相手に実際に演習を行い、評価・分析及び指導法について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、E、F、J
	第5回	【テーマ】 フロスティック視知覚発達検査法について 【計画内容】 フロスティック視知覚発達検査法について、検査バッテリーと内容等について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、F
	第6回	【テーマ】 フロスティック視知覚発達検査法の実際と評価・分析及び指導について 【計画内容】 ITPA言語学習能力検査法について、学生を相手に実際に演習を行い、評価・分析及び指導法について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、E、F、J
	第7回	【テーマ】 自閉症の障害特性及び行動の特徴と行動評定法について 【計画内容】 自閉症の障害特性及び行動の特徴について理解するとともに、行動分析にかかる行動評定法を学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、E、F
	第8回	【テーマ】 自閉症の行動評定法の実際と評価・分析及び指導への応用について 【計画内容】 自閉症の行動評定法について、様々な自閉症スペクトラムの事例を紹介しながら、実際に行動評定の演習をしながら学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、E、F、J
	第9回	【テーマ】 ウェクスラーの知能の概念と知能検査の理論について 【計画内容】 知能を特殊な能力としてではなく、総合的かつ全体的な能力としてとらえる考え方について理解し、また、各種知能検査やK-ABC心理・教育アセスメントバッテリーなどの認知特性の評価・分析法などについても学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、F
	第10回	【テーマ】 WISC-IV知能検査法の実際① 【計画内容】 WISC-IV知能検査法について、学生を相手に実際に演習を行い、その内容・方法を学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、E、F
	第11回	【テーマ】 WISC-IV知能検査法の実際② 【計画内容】 WISC-IV知能検査法について、学生を相手に実際に演習を行い、その内容・方法を学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、E、F
	第12回	【テーマ】 WISC-IV知能検査法の解釈① 【計画内容】 WISC-IV知能検査の解釈について、FSIQとGAIの臨床的解釈、指標得点の解釈等を中心に学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、E、F、J
	第13回	【テーマ】 WISC-IV知能検査法の解釈② 【計画内容】 WISC-IV知能検査の解釈について、特異的LDの診断、ADHDのアセスメント、知的障害のアセスメント、言語障害における臨床的解釈等を学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、E、F、J
	第14回	【テーマ】 WISC-IV知能検査の結果の伝え方 【計画内容】 本人、保護者、学校へ検査結果を伝えるときの留意点と的確な指導への助言等のあり方について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリント等読んでおくこと。					A、B、E、F
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 特別支援教育の質の高い幅広い専門性について、再確認し、レポートにまとめます。 【準備学習の内容】 これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。					A、B、E、F、L
テキスト	プリントを使用します 日本LD学会、2012年、『LD研究第21巻第2号「あらためて問う発達障害児の学習支援-知能・学力・生きる力-』、日本LD学会編集委員会 日本LD学会、2017年、『LD-ADHD等関連用語集 第4版』、日本文化科学社、9784821073689						
参考書	上野一彦 監訳、2012年、『日本版WISC-IVの臨床的利用と解釈』、日本文化科学社、9784821063666 香川邦生、大内進編、2013年、『特別支援教育コーディネーターの役割と連携の実際』、教育出版、9784316803647 細村道夫・山下隆三編、1996年、『知覚学習活動ハンドブック』、コレール社、4876371733						
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	30%	50%		20%		
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[生]特支専_必修						
その他							

生涯学習研究科  
2年次科



科目名	知的障害者指導特論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	石塚 誠之							
授業の目的	ねらい	障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた取組が開始され、幼児教育から高等学校教育へと幅を広げている。本講義は知的障害児・者一人ひとりのニーズを把握し、生活や学習上の困難の改善、克服といった理念を実現するための適切な指導及び必要な支援内容を学ぶことを目的としている。						
	到達目標	(1)特別支援教育の意義と制度について理解する。 (2)障がいの概念及び教育ニーズについて理解する。 (3)知的障害児・者の実態把握と支援方法を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】知的障害とは① 【計画内容】知的障害に関する歴史について学びます。 【準備学習の内容】知的障害の定義について予習すること。	A、L					
	第2回	【テーマ】知的障害とは② 【計画内容】日本における法的な位置づけとイギリスにおける位置づけを学びます。 【準備学習の内容】海外の知的障害の定義について予習すること。	A、F、L					
	第3回	【テーマ】障がいの診断基準 【計画内容】ICD-10、DSM-IVによる障がい区分について、発達障害を中心に学びます。 【準備学習の内容】「障がいの概念の変遷」について予習すること。	A、F、L					
	第4回	【テーマ】特別支援教育とは 【計画内容】ICF及びICF-CYの理解とその活用について学びます。 【準備学習の内容】WHOの「障がい概念の変遷」の背景について予習すること。	A、F、L					
	第5回	【テーマ】特別支援教育における校内支援体制 【計画内容】校内委員会や支援体制のあり方について学びます。 【準備学習の内容】校内委員会の設置率について予習すること。	A、F、L					
	第6回	【テーマ】障がいの実態把握① 【計画内容】学習や行動上の特性の把握など、最新のアセスメントの情報も併せて学びます。 【準備学習の内容】WISC-IVについて予習すること。	A、J、L					
	第7回	【テーマ】障がいの実態把握② 【計画内容】WISC-IVを用いた支援について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義の復習。	A、J、L					
	第8回	【テーマ】障がいの実態把握③ 【計画内容】学校で使用できるアセスメントについて紹介します。 【準備学習の内容】前回の講義の復習。	A、J、L					
	第9回	【テーマ】「個別の教育支援計画」について 【計画内容】実際の支援計画作成ステップについて学びます。 【準備学習の内容】「個別の教育支援計画」の一部を作成しておくこと	A、J、L					
	第10回	【テーマ】「個別の指導計画」について① 【計画内容】知的障害児を対象とした「個別の指導計画」を作成します。 【準備学習の内容】前回の講義を復習すること。	A、J、L					
	第11回	【テーマ】「個別の指導計画」について② 【計画内容】知的障害児を対象とした「個別の指導計画」を作成します。 【準備学習の内容】前回の講義を復習すること。	A、J、L					
	第12回	【テーマ】自閉症スペクトラム児への指導① 【計画内容】自閉症スペクトラム児を対象とした「個別の指導計画」を作成します。 【準備学習の内容】前回の講義の復習すること。	A、J、L					
	第13回	【テーマ】自閉症スペクトラム児への指導② 【計画内容】応用行動分析の手法による、指導課題へのアプローチを学びます。 【準備学習の内容】A-B-Aデザインについて予習すること。	A、F、L					
	第14回	【テーマ】自閉症スペクトラム児への指導③ 【計画内容】応用行動分析の手法による、指導課題へのアプローチを学びます。 【準備学習の内容】前回の講義を復習すること。	A、F、L					
	第15回	【テーマ】今後の特別支援教育の展望について 【計画内容】まとめと理想の特別支援教育の将来展望について学びを深めます。 【準備学習の内容】講義内容を復習して、理想の特別支援教育について自分の意見を整理すること。	A、L					
テキスト	プリントを使用します							
参考書	国立特別支援教育総合研究所、2007年、『ICF及びICF-CYの活用』、ジヤース教育新社、9784921124786 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	30%		70%				
補足				レポート				
質問への対応	最初の講義時に説明します。							
資格	[生]特支専_必修							
その他								

科目名	知的障害者指導特別演習			授業形態	講義	単位数	2
教員名	石塚 誠之						
授業の目的	ねらい	知的障害及び、関連が深い自閉症、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、広汎性発達障害(PDD)など障害の理解と教育的支援について、最新の研究動向及び事例を取り上げた上で、支援の方法を事例的に検討し理解を深める。					
	到達目標	(1)知的障害者のための福祉の支援の内容や方法を説明できる。 (2)知的障害者の将来の生活を見据えた指導計画の作成に自分なりの考えを持つことができる。 (3)知的障害児の実態に応じて支援を行うことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 特別支援教育の展望と課題 【計画内容】 知的障害者教育・福祉の歴史及び課題について学ぶ。 【準備学習の内容】 知的障害児・者を取り巻く課題について調べておく。					A、L
	第2回	【テーマ】 知的障害及び関連する諸障害の現状①(家庭教育、家庭支援を中心に) 【計画内容】 知的障害者個人と家族、生活における実態及び課題について学ぶ。 【準備学習の内容】 知的障害者の家族が書いた文献等を読んでおくこと。					A、F、L
	第3回	【テーマ】 知的障害及び関連する諸障害の現状②(社会教育を中心に) 【計画内容】 知的障害者の社会における支援の実態について学ぶ。 【準備学習の内容】 知的障害児・者を対象とした公的支援等について調べておくこと。					A、F、L
	第4回	【テーマ】 知的障害及び関連する諸障害の現状③(学校教育を中心に) 【計画内容】 知的障害者に対する学校教育における指導・支援の実態について学ぶ。 【準備学習の内容】 知的障害児・者を対象とした効果的な実践等について調べておくこと。					A、F、L
	第5回	【テーマ】 知的障害及び関連する諸障害の事例検討①(実態把握) 【計画内容】 知的障害児・者に対するアセスメント法について学ぶ。 【準備学習の内容】 WISC-IV等、認知検査の概要について事前学習しておく。					A、F、L
	第6回	【テーマ】 知的障害及び関連する諸障害の事例検討②(支援計画の策定) 【計画内容】 知的障害児・者の支援計画の作成手続きについて学ぶ。 【準備学習の内容】 各市町村で出されている支援計画について目を通しておくこと。					A、F、L
	第7回	【テーマ】 知的障害及び関連する諸障害の事例検討③(支援の実際) 【計画内容】 知的障害児・者の支援方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 ciniiなどで、知的障害児・者を対象とした実践を読んでおくこと。					A、F、L
	第8回	【テーマ】 知的障害及び関連する諸障害の事例検討④(支援における課題) 【計画内容】 知的障害児・者の支援における配慮点・課題について学ぶ。 【準備学習の内容】 支援における配慮点・課題について考えておくこと。					A、F、L
	第9回	【テーマ】 障害者の権利条約とインクルーシブ教育について 【計画内容】 知的障害児・者を取り巻く変化について学ぶ。 【準備学習の内容】 インクルーシブ教育と合理的配慮について調べておく。					A、F、L
	第10回	【テーマ】 知的障害者の教育と福祉、労働について 【計画内容】 知的障害児・者の就労における課題、ジョブコーチの役割について学ぶ。 【準備学習の内容】 ジョブコーチの活用事例について調べておくこと。					A、F、L
	第11回	【テーマ】 個別の支援計画と関係機関との連携について 【計画内容】 知的障害児・者を対象とした個別の支援計画と関係機関との連携について学ぶ。 【準備学習の内容】 個別の支援計画について配付資料を読んでおくこと					A、F、L
	第12回	【テーマ】 社会参加と自律・自立を促す教育実践のあり方(幼稚園・小学部) 【計画内容】 就学初期における知的障害児の指導の観点について学ぶ。 【準備学習の内容】 知的障害児の就学時の流れについて確認しておく。					A、F、L
	第13回	【テーマ】 社会参加と自律・自立を促す教育実践のあり方(中学部) 【計画内容】 中学部における知的障害児の指導の観点について学ぶ。 【準備学習の内容】 知的障害児の学齢期の課題について確認しておく。					A、F、L
	第14回	【テーマ】 社会参加と自律・自立を促す教育実践のあり方(高等部) 【計画内容】 高等部・就労移行時を中心として知的障害児の指導の観点について学ぶ。 【準備学習の内容】 進路指導・キャリア教育について事前学習をしておくこと。					A、F、L
	第15回	【テーマ】 知的障害の社会参加 【計画内容】 生涯学習という観点で知的障害児・者の自立について考える。 【準備学習の内容】 知的障害者の自立に関わる諸要因について考えを深めておくこと。					A、F、L
テキスト	プリントを配付します						
参考書	トモニ療育センター、1998年、『ともに』、トモニ療育センター 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		50%		20%	
補足							
質問への対応	初回の講義時に説明します。						
資格	[生]特支専_必修						
その他							

科目名	肢体不自由者指導特論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	和 史朗						
授業の目的	ねらい	我が国の肢体不自由教育の歴史について理解し、肢体不自由のある幼児児童生徒に対する教育について、基礎的・応用的理論と先駆的な指導実践の中から理解を深める。また、肢体不自由教育における教育課程の編成や自立活動の指導の実践について学ぶ。更に、摂食指導や医療的ケアといった幼児児童生徒の毎日の健康や生命の維持に不可欠な内容について理解を深めることを本講義のねらいとする。					
	到達目標	(1)我が国の肢体不自由教育の歴史及び現在の肢体不自由教育の現状と課題について学ぶ。 (2)肢体不自由教育における教育課程の編成及び内容について理解する。 (3)肢体不自由教育における自立活動の具体的な指導内容及び方法について理解を深める。 (4)肢体不自由教育における摂食指導や医療的ケアについて理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 15回の講義内容について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。			A、H		
	第2回	【テーマ】 日本の肢体不自由教育の歴史 【計画内容】 我が国の肢体不自由教育について、その歴史と展望、現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、H		
	第3回	【テーマ】 肢体不自由教育の対象と教育の場 【計画内容】 肢体不自由の定義及び肢体不自由教育の対象となる障害の程度について理解し、個の教育的ニーズに応じた教育の場について理解します。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、H		
	第4回	【テーマ】 特別支援教育の考え方～ICFによる生活機能の分類～ 【計画内容】 特殊教育から特別支援教育への移行の背景を理解し、ICF(国際生活機能分類)による生活機能の分類方法ならびに障害の考え方について理解します。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、H		
	第5回	【テーマ】 肢体不自由者の社会参加を実現するための支援の実践 【計画内容】 機能障害や能力障害にとらわれず、肢体不自由者の社会参加を実現していくための環境操作といった支援の在り方について理解します。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、H		
	第6回	【テーマ】 肢体不自由者の教育課程 【計画内容】 肢体不自由教育における個の教育的ニーズに応じた教育課程の編成について、法令や学習指導要領の内容から理解します。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A		
	第7回	【テーマ】 特別支援学校における自立活動の目標及び内容 【計画内容】 特別支援学校における自立活動の目標及び6区分26項目からなる指導内容に関して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A		
	第8回	【テーマ】 肢体不自由教育における自立活動の指導の実践～「身体の動き」に関して～ 【計画内容】 肢体不自由教育における自立活動の指導の中核をなす「身体の動き」の内容と指導の実践に関して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B		
	第9回	【テーマ】 肢体不自由教育における教科別指導の実践 【計画内容】 肢体不自由教育において教科別指導を行う際の配慮事項ならびに教科別指導を行う際に有効な心理検査の内容とその活用方法に関して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A		
	第10回	【テーマ】 肢体不自由教育における領域・教科を合わせた指導の実践 【計画内容】 肢体不自由教育における領域・教科を合わせた指導の実践について、事例研究を通して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、J		
	第11回	【テーマ】 肢体不自由教育における自立活動を主とした指導の実践 【計画内容】 肢体不自由教育における自立活動を主とした指導の実践について、事例研究を通して学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、J		
	第12回	【テーマ】 無発語の肢体不自由者へのコミュニケーション指導 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校に多く在籍している重度・重複障害のある無発語の幼児児童生徒を対象としたコミュニケーショントレーニングの実践について、事例研究を通して学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、J		
	第13回	【テーマ】 個別の教育支援計画を生かした機能的な授業づくり 【計画内容】 本人の願いからはじまる個別の教育支援計画作成の視点と、これを生かした授業づくりの実践について、事例研究を通して学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、J		
	第14回	【テーマ】 摂食機能の障害と摂食指導の実践 【計画内容】 摂食機能の障害と摂食指導の実践について学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、E		
	第15回	【テーマ】 学校で行う医療的ケアの意義と内容 【計画内容】 学校で行う医療的ケアの意義と内容について理解します。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A		
テキスト	プリントを配付します						
参考書	安藤隆男・藤田紀道、2015年、『よくわかる肢体不自由教育』、ミネルヴァ書房、9784623072507 全国肢体不自由養護学校長会、2005年、『新たな肢体不自由教育実践講座』、ジヤース教育新社、4921124477 文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編』、海文堂出版、9784303124328						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		30%		30%	
補足							
質問への対応	質問には講義時またはメール等で随時対応します。E-Mail:s-nigi@tfu-mail.tfu.ac.jp						
資格	[生]特支専_必修						
その他	レポートのフィードバックは必要に応じてメールで対応します。レポート内容以外の相談等にも年度内を通して応じます。						



科目名	肢体不自由者指導特別演習			授業形態	講義	単位数	2
教員名	石川 大						
授業の目的	ねらい	肢体不自由のある幼児児童生徒のアセスメントに有効な心理検査の方法について演習を通して学びます。また、脳性麻痺の心理、生理、病理の理解を通して、必要な動作支援の方法についての学びを深めます。さらに、肢体不自由児者の日常の行動観察から得られるアセスメントの情報を、コミュニケーション指導に生かしていくための方略について学びます。最後に、肢体不自由児者の余暇を充実させるための障害者スポーツの在り方やその指導法について実習を通して学びます。					
	到達目標	(1)肢体不自由児に有効な心理アセスメントを実施することができる。 (2)脳性麻痺の心理、生理、病理について理解する。 (3)心理リハビリテーションとしての動作法の支援方略について、実践的に学ぶ。 (4)重度・重複障害のある児童生徒の行動問題に対する支援方略を理解する。 (5)スポーツ実技指導を通して、肢体不自由者への支援の視点を身につける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 15回の講義計画について説明し、到達目標を明らかにする。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。					A、B、H
	第2回	【テーマ】 肢体不自由のある幼児児童生徒のアセスメント(1):遠城寺式乳幼児分析的発達検査 【計画内容】 重度重複障害児のアセスメントに有効な遠城寺式乳幼児分析的発達検査の実施及び解釈の方法について、演習を通して学ぶ。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B、D、H
	第3回	【テーマ】 肢体不自由のある幼児児童生徒のアセスメント(2):絵画語彙発達検査改訂版 PVT-R 【計画内容】 発話に制限のある幼児児童生徒のアセスメントに有効な心理検査の方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B、D、H
	第4回	【テーマ】 肢体不自由のある幼児児童生徒のアセスメント(3):フロスティグ視知覚発達検査DTVR 【計画内容】 肢体不自由児にしばしば見られる視知覚認知の困難さについてアセスメントする方略を知る。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B、D、H、L
	第5回	【テーマ】 脳性麻痺の型と臨床像 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校に在籍する幼児児童生徒のうち、大多数を占める脳性麻痺のタイプごとの臨床像について理解を深める。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、E
	第6回	【テーマ】 乳幼児の運動発達の道筋 【計画内容】 健常乳幼児における原始反射の消失や姿勢反応の出現の過程、運動発達の道筋について理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B、E
	第7回	【テーマ】 肢体不自由に対する様々なアプローチの概要 【計画内容】 肢体不自由者に対する整形外科学や神経生理学、教育・心理学等からの様々なアプローチの概要について理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B
	第8回	【テーマ】 肢体不自由者への動作法からのアプローチ 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校において広く取り組まれている動作法について、インテークにおけるアセスメントの視点ならびに実際の支援のポイントを理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B、E、H、L
	第9回	【テーマ】 児童生徒の行動問題の理解 【計画内容】 特別支援学校の児童生徒の行動を理解するための枠組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B
	第10回	【テーマ】 児童生徒の行動問題の支援 【計画内容】 特別支援学校の児童生徒の行動上の問題を解決するための望ましい支援の在り方について深く理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B
	第11回	【テーマ】 中途障害者の理解と支援 【計画内容】 中途障害者における障害受容の過程を知り、必要な支援の視点について理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、H
	第12回	【テーマ】 アダプテッド・スポーツの考え方と支援の視点 【計画内容】 アダプテッド・スポーツの考え方を理解し、パラリンピック競技種目の競技規則の理解を通して、障害に応じたスポーツ支援の視点を深く学ぶ。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B、L
	第13回	【テーマ】 肢体不自由児者に対するスポーツ実技指導(1):ストレッチング及び基本動作の指導 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校において、実際に児童生徒を対象としてストレッチなどの実技指導を行い、運動支援におけるポイントを理解する。 【準備学習の内容】 脳性麻痺の心理、生理、病理について復習しておくこと。					D
	第14回	【テーマ】 肢体不自由児者に対するスポーツ実技指導(2):競技支援の実際 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校において、実際に児童生徒を対象として野球の指導を行い、個に応じた支援の視点について理解する。 【準備学習の内容】 重度肢体不自由者のスポーツについて復習しておくこと。					D
	第15回	【テーマ】 課題分析(Task Analysis)を用いた運動指導 【計画内容】 学校場面で有効な課題分析(Task Analysis)を用いた動作指導や運動指導の方略について、実技演習を通して理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。					A、B、E
テキスト	プリントを配付します						
参考書	安藤隆男・藤田継道編、2015年、『よくわかる肢体不自由教育』、ミネルヴァ書房、9784623072507 松原達哉著、2006年、『心理テスト法入門 第4版』、日本文化科学社、4821063603 文部科学省、2018年、『特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編』、開隆堂、9784303124243						
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	20%	50%		30%		
補足							
質問への対応	最初の講義時に説明します。						
資格	[生]特支専_必修						
その他							

科目名	病弱教育研究		授業形態	講義	単位数	2
教員名	磯貝 隆之					
授業の目的	ねらい	病弱教育では、特別支援学校、特別支援学級、院内学級、又は訪問教育等で教育を受けながら、病気と向き合っている幼児・児童・生徒が中心になります。病弱教育の状況を病気の状態像から理解を深め、その心理状態を探索するとともに、指導・支援の在り方を考察して、レポートにまとめます。また、院内学級など訪問を通して病弱の子どもの実際についても理解を深めていきます。レジュメによる発表や意見交換を中心に講義を進めていく予定です。				
	到達目標	(1)病弱児の疾患の状況や心理的影響について理解を深める。 (2)病弱児教育の内容や指導方法、支援や配慮事項について理解を深める。 (3)病弱児の現状や課題について考察することができる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容・展開についての説明をします。また、研究計画の立案をしていきます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟知しておくこと。				A
	第2回	【テーマ】病弱児の理解 【計画内容】病弱児の定義や対象について理解するとともに、身体虚弱や疾患について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第3回	【テーマ】病弱児の教育(1) 【計画内容】病弱教育の意義や教育課程の編成について理解するとともに、個別の指導計画や教材・教具の工夫について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第4回	【テーマ】病弱児の教育(2) 【計画内容】教科指導、道徳、特別活動、総合的な学習の時間について理解するとともに、自立活動について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第5回	【テーマ】病弱児の教育(3) 【計画内容】病弱教育における重複障がいについて理解するとともに、重複障がい児への指導の目標や内容について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第6回	【テーマ】病弱児の教育(4) 【計画内容】病弱養護学校と医療との連携の意義について理解するとともに、実際の連携のあり方について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第7回	【テーマ】病弱児の教育(5) 【計画内容】就学手続きや転学手続きについて理解するとともに、児童相談所や福祉事務所との連携について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第8回	【テーマ】病弱児への教科指導(1) 【計画内容】小学部の教科指導について理解するとともに、指導上の工夫や留意点について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第9回	【テーマ】病弱児への教科指導(2) 【計画内容】中学部の教科指導について理解するとともに、指導上の工夫や留意点について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第10回	【テーマ】病弱児への教科指導(3) 【計画内容】高等部の教科指導について理解するとともに、指導上の工夫や留意点について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第11回	【テーマ】院内学級(1) 【計画内容】院内学級の制度上のしくみや実態について理解するとともに、対象の児童や疾患、治療上の効果等について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第12回	【テーマ】院内学級(2) 【計画内容】院内学級と医療及び在籍校・前籍校との連携について理解するとともに、子どもや保護者の心理的支援について学びを深めていきます。 【準備学習の内容】テキストの指定された範囲をレジュメにまとめて発表できるようにしておくこと。				A、F
	第13回	【テーマ】病弱教育の研究(1) 【計画内容】院内学級を訪問し、教育や支援の実際について学びを深め、病弱教育について考察します。 【準備学習の内容】参観する院内学級についてネット等で調べておくこと。				D、F
	第14回	【テーマ】病弱教育の研究(2) 【計画内容】前時で訪問したことを省察し、文献研究を参考にしながらレポートにまとめていきます。 【準備学習の内容】院内学級参観のメモを整理しておくこと。				F
	第15回	【テーマ】病弱教育の研究(3) 【計画内容】前時でまとめたレポートを発表し、意見交換をしながら考察を加え研究を深めていきます。 【準備学習の内容】レポートをもとにプレゼンテーションソフトで発表準備をしておくこと。				F
テキスト	全国特別支援学校病弱教育校長会、2012年、『特別支援学校の学習指導要領を踏まえた病気の子どものガイドブック』、ジヤース教育新社、9784863711808					
参考書	全国病弱養護学校校長会、2001年、『病弱教育Q&A』、ジヤース教育新社					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%		50%	
	補足		レジュメ			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。					
資格	[生]特支専_必修					
その他						



科目名	重複障害者指導特論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	和 史朗						
授業の目的	ねらい	重複障害のある幼児児童生徒のアセスメントに有効な心理検査の方法について演習を通して学びます。また、知的障害を伴う脳性麻痺者の心理、生理、病理の理解を通して、必要な動作支援の方法についての学びを深めます。さらに、重複障害者の日常の行動観察から得られるアセスメントの情報を、コミュニケーション指導に生かしていくための方略について学びます。最後に、重複障害者の余暇を充実させるための障害者スポーツの在り方やその指導法について実習を通して学びます。					
	到達目標	(1)重複障害者に有効な心理アセスメントを実施することができる。 (2)重複障害者の心理、行動特性について理解する。 (3)心理リハビリテーションとしての動作法の支援方略について、実践的に学ぶ。 (4)重度・重複障害のある児童生徒の行動問題に対する支援方略を理解する。 (5)スポーツ実技指導を通して、重複障害者への支援の視点を身につける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 15回の講義計画について説明し、到達目標を明らかにする。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。				A、B、H	
	第2回	【テーマ】 重度・重複障害のある幼児児童生徒のアセスメント(1):遠城寺式乳幼児分析的発達検査 【計画内容】 重度重複障害児のアセスメントに有効な遠城寺式乳幼児分析的発達検査の実施及び解釈の方法について、演習を通して学ぶ。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B、D、H	
	第3回	【テーマ】 重複障害のある幼児児童生徒のアセスメント(2):絵画語彙発達検査改訂版 PVT-R 【計画内容】 発話に制限のある幼児児童生徒のアセスメントに有効な心理検査の方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B、D、H	
	第4回	【テーマ】 重複障害のある幼児児童生徒のアセスメント(3):フロスティック視知覚発達検査DTVP 【計画内容】 肢体不自由児にしばしば見られる視知覚認知の困難さについてアセスメントする方略を知る。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B、D、H、L	
	第5回	【テーマ】 脳性麻痺の型と臨床像 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校に在籍する幼児児童生徒のうち、大多数を占める脳性麻痺のタイプごとの臨床像について理解を深める。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、E	
	第6回	【テーマ】 乳幼児の運動発達の道筋 【計画内容】 健康乳幼児における原始反射の消失や姿勢反応の出現の過程、運動発達の道筋について理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B、E	
	第7回	【テーマ】 重度・重複障害者に対する様々なアプローチの概要 【計画内容】 重度・重複障害者に対する整形外科学や神経生理学、教育・心理学等からの様々なアプローチの概要について理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B	
	第8回	【テーマ】 肢体不自由者への動作法からのアプローチ 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校において広く取り組まれている動作法について、インテークにおけるアセスメントの視点ならびに実際の支援のポイントを理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B、E、H、L	
	第9回	【テーマ】 重度・重複障害者の行動問題の理解 【計画内容】 特別支援学校に多く在籍している重度・重複障害者の行動を理解するための分析の枠組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B	
	第10回	【テーマ】 重度・重複障害者の行動問題の支援 【計画内容】 特別支援学校に多く在籍している重度・重複障害者の行動上の問題を解決するための望ましい支援の在り方について深く理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B	
	第11回	【テーマ】 重度・重複障害者の行動問題に対する非嫌悪的アプローチの方法 【計画内容】 重度・重複障害者の行動問題に対する嫌悪的アプローチの問題点を整理し、嫌悪的手段を用いないアプローチの方法について理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B	
	第12回	【テーマ】 重複障害者を対象としたアダプテッド・スポーツの考え方と支援の視点 【計画内容】 アダプテッド・スポーツの考え方を理解し、パラリンピック競技種目の競技規則の理解を通して、特に重度・重複障害に応じたスポーツ支援の視点を深く学ぶ。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B、L	
	第13回	【テーマ】 重複障害者に対するスポーツ実技指導(1):ストレッチング及び基本動作の指導 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校において、実際に児童生徒を対象としてストレッチなどの実技指導を行い、運動支援におけるポイントを理解する。 【準備学習の内容】 脳性麻痺の心理、生理、病理について復習しておくこと。				D	
	第14回	【テーマ】 重複障害者に対するスポーツ実技指導(2):競技支援の実際 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校において、実際に児童生徒を対象として野球の指導を行い、個に応じた支援の視点について理解する。 【準備学習の内容】 重度肢体不自由者のスポーツについて復習しておくこと。				D	
	第15回	【テーマ】 課題分析(Task Analysis)を用いた運動指導 【計画内容】 学校場面で有効な課題分析(Task Analysis)を用いた動作指導や運動指導の方略について、実技演習を通して理解する。 【準備学習の内容】 講義内容について事前に調べておくこと。				A、B、E	
テキスト	プリントを配付します						
参考書	安藤隆男・藤田純道編、2015年、『よくわかる肢体不自由教育』、ミネルヴァ書房、9784623072507 松原達哉編、2006年、『心理テスト法入門 第4版』、日本文化科学社、4821063603 文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編』、海文堂出版、9784303124328						
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%	30%		30%		
補足							
質問への対応	質問には講義時またはメール等で適時対応します。E-Mail:s-nigi@tfu-mail.tfu.ac.jp						
資格	[生]特支専_必修						
その他	レポートのフィードバックは必要に応じてメールで対応します。レポート内容以外の相談等にも年度内を通して応じます。						

科目名	発達障害者指導特論				授業形態	講義	単位数	2	
教員名	石塚 誠之								
授業の目的	ねらい	通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の発達障害児は、中枢神経系に何らかの障害があるために起きる学習上、行動上の障害であるといわれています。本講義では、発達障害に伴う特徴や学習上の問題、二次障害、不登校、家族支援等について、理解を深めることをねらいとします。							
	到達目標	(1)各発達段階における指導の在り方について理解する。 (2)脳と発達障害の関係について理解する。 (3)発達障害に伴う二次障害、不登校、学習指導について理解する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 発達障害の概要について説明するとともに、15回の講義展開について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを事前に確認し、講義全体の内容を深めること。					A、L		
	第2回	【テーマ】 発達障害児を対象としたアセスメント(1) 【計画内容】 心理検査等、アセスメントの手立てについて学びます。 【準備学習の内容】 アセスメントの方法について理解すること。					A、H、L		
	第3回	【テーマ】 発達障害児を対象としたアセスメント(2) 【計画内容】 心理検査等、アセスメントについて事例をもとに評価を体験します。 【準備学習の内容】 検査マニュアルについて熟読すること。					A、J、L		
	第4回	【テーマ】 発達障害児を対象としたアセスメント(3) 【計画内容】 心理検査等、アセスメントについて実際に体験します。 【準備学習の内容】 検査マニュアルについて熟読すること。					A、L、N		
	第5回	【テーマ】 発達障害児を対象としたアセスメント(4) 【計画内容】 心理検査等、アセスメントについて実際に体験します。 【準備学習の内容】 検査マニュアルについて熟読すること。					A、L、N		
	第6回	【テーマ】 発達障害に伴う二次障害 【計画内容】 発達障害の二次障害の実態に対応するケアとサポートについて学びます。 【準備学習の内容】 不登校について理解を深めること。					A、F、L		
	第7回	【テーマ】 発達障害に伴う不登校(1) 【計画内容】 発達障害に伴う不登校の対応について学びます。 【準備学習の内容】 不登校の個別指導の在り方について理解を深めること。					A、F、L		
	第8回	【テーマ】 発達障害に伴う不登校(2) 【計画内容】 発達障害に伴う不登校の実態に対応するケアとサポートについて学びます。 【準備学習の内容】 LDについて理解を深めること。					A、F、L		
	第9回	【テーマ】 LDの指導(1) 【計画内容】 LDの障害の理解と実際の指導について学びます。 【準備学習の内容】 LDの個別指導の在り方について理解すること。					A、F、L		
	第10回	【テーマ】 LDの指導(2) 【計画内容】 LDの実態に応じたきめ細かな指導の在り方について学びます。 【準備学習の内容】 ADHDについて理解を深めること。					A、F、L		
	第11回	【テーマ】 ADHDの指導(1) 【計画内容】 ADHDの理解と実際の指導について学びます。 【準備学習の内容】 ADHDの個別の指導について理解すること。					A、F、L		
	第12回	【テーマ】 ADHDの指導(2) 【計画内容】 ADHDの実態に応じたきめ細かな指導・保護者支援の在り方について学びます。 【準備学習の内容】 ADHDの児童の保護者支援について理解を深めること。					A、F、L		
	第13回	【テーマ】 自閉症スペクトラム障害の指導(1) 【計画内容】 自閉症スペクトラム障害の理解と実際の指導について学びます。 【準備学習の内容】 自閉症スペクトラム障害について理解を深めること。					A、F、L		
	第14回	【テーマ】 自閉症スペクトラム障害の指導(2) 【計画内容】 自閉症スペクトラム障害の実態に応じたきめ細かな指導の在り方について学びます。 【準備学習の内容】 今までの講義内容をまとめてくること。					A、F、L		
	第15回	【テーマ】 自閉症スペクトラム障害の困難さについて理解を深めること。 【計画内容】 15回の講義内容を振り返り、まとめと確認をします。 【準備学習の内容】 今までの配付資料を事前確認すること。					A、F、L		
テキスト	プリントを使用します								
参考書	プリントを使用します 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	20%		50%		30%			
補足									
質問への対応	講義の前後に質問を受けます。								
資格	[生]特支専_必修								
その他									



講義要綱  
SYLLABUS  
北翔大学大学院

---

2019年4月 発行  
北翔大学・北翔大学短期大学部  
〒069-8511 江別市文京台23番地  
TEL (011) 386-8011  
FAX (011) 387-1542

---





